

前回までの編集委員会で出たご意見と対応について

資料 1

N o	項目	委員会	意見	当日の回答	対応状況	現状及び今後の対応
1	関係団体とのデータ共有について	第 5 回	・ 県が関連する資料館や美術館等のデータ管理・整理はどのような状況か。	・ 関連する団体のデータベースにある情報が公開可能なものか含め、今年度から来年度にかけて各館と調整を行っていく。	△	・ 令和 6 年度はまず県立施設を対象とした、各館のデータ整備状況の把握及び公開に向けた協議を歴史文化財課及び県史編さん室で協力し進めていく。 ・ また同時に令和 7 年度以降は、把握・整理された資料のデジタル化及び展開の仕方について検討していく。
2	クラウドサービスを活用したデータ共有について	第 7 回	・ アップされたデータが見れない状況が多々あるため、対応・改善策を教えてほしい。	・ おそらくデータの容量が問題であると思われる。対応策として、PDFデータを分割することが挙げられるが、各パソコンのスペックや通信環境の問題である可能性も高いため、事務局にて原因を確認させていただく。	○	・ 100MB以上のPDFデータを閲覧する際に、プレビューが表示されないことを確認。各パソコンのスペックや通信環境に左右される部分もあるが、PDFを分割し共有することを勧める。
			・ 全部会共通管理が可能となるフォルダを作成してほしい。		○	・ 7 月より全部会共通フォルダの運用を開始。
			・ 委員間のみでなく、外部関係者と共有可能にできないか。		×	・ <u>高知県の情報セキュリティポリシーを踏まえたうえで、クラウドサービス上で外部関係者と共有は難しいことを関係機関に確認済み。そのため、USB等を介してデータの共有を行う必要がある。</u>
			・ 配付されたGmailアドレスと県職員のメールアドレスとで、県史関連のやりとりを一元化できないか。	・ Gmailのやりとりについては、配付されたアカウント同士のやりとりに限定されており、県職員メールアドレス（pref.kochi.lg.jp）とやりとりをすることはできない。	×	
3	県史の判型・段組について	第 7 回	・ 資料編について、日記や記録類を掲載することも検討されており、カラー写真の対応について伺いたい。 ・ DVDなどの附属資料について検討しており、相談させていただきたい。	・ 全体の刊行数や各部会の掲載資料や事情等も勘案して、調整させていただき、改めてご報告させていただく。	△	・ 第 8 回編集委員会にて判型・段組について事務局案を提示済み。なお判型について複数の印刷製本会社と協議中。カラー写真等についても全体の枠組みの中で考える。
4	海外資料調査について	第 7 回	・ 必要な場合は海外資料調査が可能か。	・ 入念な事前準備、予算の確保が必要であり、来年度直ちに海外資料調査をすることは困難である。 ・ 資料の所在、調査の必要性を確認後、来年度以降予算要求していきたいと思う。	○	・ まずは県内・国内に残されている歴史資料調査を優先することとしたい。しかし、各部会において海外での資料調査が必要と判断した際には事務局へ相談いただきたい。 ・ <u>令和 7 年度は各専門部会から要望は特にいただかなかったが、上記のように、今後要望があった場合には必要性をお伺いして、判断することとしたい。</u>
5	資料の所在確認について	第 8 ・ 9 回	・ 資料の所在や情報についての情報共有をお願いしたい ・ 所在の調査について全体で取り組めるような体制を事務局主導で構築できないか ・ 所在調査の優先順位について、資料編の刊行が近いこともあり、近世が第一優先であることを理解していただきたい。また、他の部会の所在調査の際にも、近世の文書があるか等確認をしていただきたい。	・ 所在調査について34市町村を一巡し情報を集約、事務局の各部会担当同士で情報共有を行っている。 ・ 一方で合併済みの市町村については、追加調査が必要となっている	△	・ 合併前の旧市町村単位での調査を、今年度室戸・香美地域で行ったほか、 <u>追加調査を東洋町で行った結果、前県史掲載資料が見つかった。（北川家文書）。</u> 今後も順次行っていく。 ・ すでに編集作業にとりかからないといけない部会もあり、人員と予算に制限がある中、一定優先順位をつけたうえで、各専門部会の意見をふまえながら所在調査を進めていく。また、所在調査の際に他部会の資料についても確認し、情報共有を行う。

6	高知県史の広報について	第7・8回	・県史編さんに関する資料や文献の所在情報等について、情報提供の呼びかけをHPに掲載できないか。 ・「高知県史」と検索して出てくるような工夫及びFacebook等SNSを利用した発信を検討いただきたい。	・情報提供の呼びかけと連絡先についてHPに掲載するようにする。 ・順次HPの拡充を行っていく。	○	・資料の所在情報については、市町村訪問時に担当職員に毎回提供依頼を行っており、HPにも掲載を始めている。その結果、情報提供も実際にあり、調査に行った事例もあり。 ・SNSについてはR6から「とさぶし」が1月に5回Instagramを発信する予定。（県史情報も含む）その他、令和6年度末より毎年の発刊を予定している「ときのあかし」についてもFacebookにて月1回、順次調査の様子等の紹介を始めている。 ・また、県史編さん室の業務報告として「ときのあかし」やHPにて引き続き県民向けに公開していく予定。
7	県史編さん室の部屋・動線について	第8・9回	・スペースを奪われてしまうため、県史編さん室の部屋について再度見直しをできないか。 ・預かった資料の管理を、文化財として厳密に行っていただきたい。 ・執務室に関して移転の計画等はあるか	・県の組織全体の運営にかかわることであり、見直しや変更等は難しい。 ・撮影スペースについては職員の目配せができるところで考えている。 ・移転の可能性もあり、更なる環境の改善をできるよう準備・計画等の検討を進めている。	○	・執務スペースは国民文化祭課と共有しているが、収蔵スペース・撮影スペースは別途設けて運営している。 ・国民文化祭課にも入室時の粘着マット等、資料の劣化に繋がる虫の侵入等を防ぐことに協力いただいております、動線についても資料の紛失・破損等につながらないように考慮している。 ・現在、執務スペースは総務部及び国民文化祭課と協議を続けており、令和7年度以降編さん事業に必要な面積を確保できる予定である。
8	資料編の副題について	第8・9・10回	・副題の検討の前に、通番を資料編と通史編に分けて打つべきかもしくは全体での通し番号にするのか決めることが必要ではないか	・まだ事務局でも検討を行っていないが、県民に分かりやすく、かつ統一感を出すことを念頭に本委員会にて検討する。	△	・第11回編集委員会において、「高知県史 資料編 （通番）」に決定。 →背表紙の副題については継続して今後の検討事項。
9	資料調査の成果報告について	第9回	・調査の成果報告会について編集作業と並行での実施については負担も大きく、規模感を考えた具体的な計画が必要。 ・刊行の翌年に、成果に基づいた講演会の開催を基本スタンスとするのがよいのではないか。	・今後も具体的な案を出しながら検討していきたい。 ・各部会からも成果報告の場の要望について出していただければと思う。	△	・<u>令和7年2月8日(土)に安芸市民会館ホールにて成果報告会を開催。</u>また、意見も受けて令和7年度以降の実施形式等を検討中。
10	<u>編さん委員会の進め方について</u>	<u>第11回</u>	・<u>具体的な意見や注文が出るようにするためには、進捗管理を厳しくするものではなく、興味を持てる内容を盛り込むことではないか。</u> ・<u>各部会がそれぞれ報告するのではなく、編集委員会で報告した内容をワンペーパーで報告したうえで、直近で注目された資料等を紹介し、質疑や議論をするのがよいのではないか。</u>	・<u>事務局にて具体的な構成案を検討する。</u>	△	・<u>第12回編集委員会にて事務局より報告。</u>
11	<u>人権的な配慮を必要とする事項について</u>	<u>第11回</u>	・<u>部落差別問題は地域によって扱い方がかなり異なるが、現在の場所を特定されるような表現は避けるということを厳守する必要がある。</u>	・<u>過去の事例等を第12回の編集委員会にて各委員から紹介いただく形で協議予定。</u>	△	・<u>現在、事務局にて、過去の取り扱い事例について文化施設等に聞き取りを行うなど、課題となる事例を収集・分析しているところ。</u> ・<u>今後、事務局として関係部署等と協議の上、たたき台を作成し、各部会のご意見を経た上で年度内に編集委員会で協議を行いたい。</u>

日時	項目	概要	要望者	関係する主な部会（予定）								対応の方向性
				古代 中世	近世	近代	現代	考古	民俗	文化財	自然	
R3. 11	移民関係 (旧満州, 南米)	旧満州からの引揚げ、また南米移民に関して調査をしてほしい	県議会議員			○	○					・前回県史にて取り上げた項目。部会内で協議し、担当委員を選任。具体的な調査については今後検討予定。（近代） ・令和5年度に満州移民について旧西土佐村にて、令和6年度は南米移民関係について海外資料に関する資料所蔵施設に聞き取り調査を実施。（現代）
R3. 11 R6. 9	よさこい祭り	よさこいは高知の特色ある祭りであり、調査及び歴史について調査してほしい	県議会議員 大学職員				○		○			・県内の祭礼について、各地域にて調査中。民俗編で「まつり」を項目とし、伝統的な祭礼とともに「よさこい」を扱う案もあるが、確定されたものではないため、今後も検討を進めていく。（民俗）
R4. 4	南海トラフ地震	新たな県史では、南海トラフ地震など震災関係は、どのように取り上げられるのか	編さん委員					○				○各時代の専門部会において、南海トラフ地震など災害の歴史を取り上げる。 ・本編の構成案で、古代における地震など自然災害を取り上げている。（古代・中世） ・資料編の構成案で災害関係を取り上げており、資料調査を進めていく。（近世、近代） ・災害単体ではなく「くらし」との関連の中で問題を検討していく。（現代） ・物部町の久保高井の山崩れ伝説をはじめ、災害にまつわる伝承の残る地域での聞き取り調査を行っていく。（民俗）
R4. 7	仁淀川水系の 水害	日高地区の水害の歴史について取り上げてほしい（鎌田堰の影響による洪水発生、村に明治以降の治水関係資料あり）	日高村		○	○	○	○		○		
R4. 9	大寺廃寺	高知市春野の大寺廃寺について、本県の古代史の解明が期待できるため、発掘等の調査をしてほしい	春野文化財 友の会	○				○		○		・県内の古代寺院については、古代・中世、考古及び文化財部会において、地元自治体と連携しながら調査地の検討・部会協議を進めていく予定。（事務局）
R4. 10	ビキニ環礁被曝	新たな県史編さんにあたり、被災の実態を県としても調査・記録し、後世に広く伝えるよう記載してほしい	県議会議員				○					・ビキニ被災に限らず、重要な戦後の歴史を取り上げていく。（事務局） ・令和5年度に宿毛市、令和6年度に室戸市にて調査実施。（現代）
R4. 10	幡多地区の歴史	高知市中心の歴史だけではなく、幡多の歴史も取り上げてほしい（文武館、法然上人、迅衝隊など）	樋口真吉 顕彰会					○				・令和5年度に、幡多地域をフィールドとした資料調査を実施。（近世）（現代）（民俗） ・令和6年度以降も調査実施予定しており、既に令和6年度近代部会の合同調査では四万十市の郷土博物館や土佐清水市の議会事務局等で調査を実施した。（古代・中世）（近代）（考古） ・現代資料編では、高知県西部(主に幡多地域)に焦点をあてた構成を検討している。
R5. 4	昭和の教育	昭和時代の本県の教育史を知る方は年々少なくなっており、昭和の教育史に力点を置いてほしい	高知新聞 オビニオン			○	○	○		○		・令和4年度に県立高知小津高等学校の資料調査を実施。（近代） ・令和5年度に県立高知工業高等学校及び県立春野高等学校の校友会資料、土佐清水市旧大津小学校資料の調査を実施。（近代）（現代） ・令和6年度には土佐女子中学高等学校、市立高知商業高等学校の資料調査を実施。（近代）
R5. 10	海外資料の調査	資料調査活動を県内にとどまらず、海外も視野に入れて積極的に行ってほしい	県議会議員					○				・本県に関する資料が海外にも所在することを把握している(戦争関係資料など)。そこで、現地の県人会などの協力のもと情報を収集し、必要性を精査したうえで海外調査を検討したい。
R6. 6	無形の文化財の 記録化	伝統工芸などの貴重な技術を次の世代に引き継ぐために、(製作過程などを)動画で残すなど、早く調査してほしい	県議会議員						○	○		・調査における資料採取は、できる限り写真や動画などデジタルデータで収集・保存している。 ・伝統工芸など無形の文化財は、関係の専門部会で協議のうえ調査を進めるが、収集したデジタルデータは、将来的に公開を検討しているデジタルアーカイブで共有するなどにより、次の世代への継承につながるよう取り組んでいきたい。
R7. 4	文化史や宗教史の 掲載	文化史、特に文学史を取り上げてほしい。宗教史（四国遍路や県内の宗教の広がりなど）も取り上げてほしい。	県議会議員				○					○宗教や文化に関する資料は、各時代の専門部会で取り上げていく計画。 (例) ・資料編2に宗教や文学の史料を収載。（古代・中世） ・資料編2・3に宗教・文化の史料を収載。（近世） ・資料編に「宗教と文化」の章を立て、資料収載予定。（近代） ・資料編に「教育・文化」の項を立て、資料を収載予定。（現代）

古代中世部会 活動報告

(1) 部会など会議の開催

○正副部会長・事務局会議

4月25日(金) 午後5～6時 ZOOMによるオンライン開催

(参加) 井上・津野、目良・野本

【議題】

- ・令和7年度の部会運営、調査計画
- ・令和7年度史料調査
- ・第8回部会について

○第8回古代中世部会

5月21日(水) 午前10～11時半 ZOOMによるオンライン開催

(参加：(委員) 井上・津野・伊藤・岡本・石畑・平井・森・守田

(事務局) 濱田・土居・目良・野本

【主な議題】

①令和7年度の部会運営について

- ・資料編1の編集にむけた進捗確認
 - ア. 古代史料の作業進捗状況
 - イ. 中世県内所在史料の作業進捗状況
- ・長宗我部関連史料収集の作業状況
- ・令和7年度の部会予算について確認
- ・東京大学史料編纂所への受託研究について

②合同調査の時期と調査先について

「香宗我部家伝証文」「水戸市立博物館所蔵文書」「成簀堂文庫」
など、今年度実施の可能性のある史料の情報収集、調査開始

(2) 史料調査

○部会合同調査

- ・3月27日(木) 京都市歴史資料館
永運院文書 2点
- ・3月28日(金) 京都大学総合博物館
西山地蔵院文書 28点、長宗我部元親書状 1点

○事務局調査

- ・6月4日(水) 愛媛県歴史文化博物館
「長宗我部氏関係文書」(【伊予史談文庫】)・「土
佐一条氏関係文書」(【柁谷文書】)



京都大学総合博物館実習室

（３）資料編・本編編纂にむけた作業状況

○事務局作業

- ・文献 PDF 化作業（４月）関係論文等 5 件
- ・目録作成作業 『須崎史談』『土佐山田史談』古代・中世関係論文抽出中
- ・東京大学史料編纂所訪問撮影デジタルデータ一覧目録の作成
- ・クラウド内データ整理作業 →SSD と内容同期 継続作業
- ・長宗我部総領家及び一族発給・受給文書抽出カウント（『蠹簡集』『古文叢』）
- ・院生アルバイトに上記作業の再チェック指導開始（R7. 4. 30～）

○委員作業

〔中世担当委員〕

- ・旧県史収載中世文書ほか県内刊行史料集収載文書の総合目録（約 1400 点）作成作業
- ・「土佐国蠹簡集」収載テキストの校正作業

〔古代担当委員〕

- ・延久元(1062)年までの原稿作成

○史料編纂所受託事業

- ・史料編纂所所蔵「史料蒐集目録」（昭和 7 ～11 年）の情報化（完了）

（４）今後の予定など

○史料撮影

旧県史収載の近世史料集の底本調査・撮影について調整中

○合同調査

調査先の選定と実施時期を調整中

近世部会 活動報告

(1) 第8回近世部会調査（令和7年3月19日～22日）

1 史料群名

北川家文書（個人蔵）

2 史料群の概要

安芸郡野根郷野根村（現：高知県東洋町）の惣老を勤めた北川家に伝わる古文書。北川家の年譜をはじめ、藩主巡覧、財政関係、阿波との国境関係史料、土地開発、宗教関係など内容は多岐にわたる。

※旧『高知県史 近世史料編』（以下、旧県史）に掲載の史料群

3 調査の日時、場所及び人員

日 時：令和7年3月19日～22日

場 所：高知大学教育学部1号館11教室

調査人数：総勢29名

（委員6名・院生13名・県内学生7名・歴史文化財課1名・事務局2名）

4 調査の方法

調査カード…史料1点ごとに調査カードを作成

5 史料点数

箱14…129点 / 箱18…376点 / 箱19…613点 / 箱28…241点（※途中）

合計 1359 点

6 調査の結果

<成果>

- ・借用した4箱中3箱整理完了
- ・旧県史史料編に未掲載の史料の整理と内容把握

<課題>

- ・史料散逸を防ぐため、所蔵者及び東洋町と協議を進める
- ・旧県史と写真帳の照合作業を行い、史料の残存状況を把握する

7 今後の調査の方向性

- ・今年度9月の部会調査も引き続き北川家文書の調査を行う予定
→今回の調査分（残部）と旧県史掲載の史料を中心とした史料調査を行う

（２）令和７年度第１回近世部会（令和７年５月９日～１１日）

- ・事務局作業の報告及び「史料編Ⅰ」の編集作業やスケジュールの確認
→事務局報告（翻刻の進捗状況及び史料返却等）、原稿の締切日、掲載史料の検討等を行った

〈版面及び構成〉

A5判 縦書き 17行×24文字＝408文字 408字×2段＝ 1頁あたり 816文字

「藩志内篇」（高知大学附属図書館所蔵）の列伝・神社を除く全文掲載

⇒慶長５年(1600)の山内一豊入国から享保２０年に至る編年史料集で、綱文と根拠史料からなる。根拠史料の内、重要な史料は原文書（原本）を対稿するため、１巻目に掲載予定であった史料の一部は２巻目に移動させる予定。

※校訂作業は全部会委員で行い、原稿の一次締切は９月中旬、最終締切は１２月

- ・部会の日程決定：年３回（５月・９月・１月）＋作業に応じて協議を行う

（３）今後の予定について

- ・第９回近世部会調査
日 時：令和７年９月２０日（土）～２３日（火）
場 所：高知県庁（正庁ホール）及び人権啓発センター ６階ホール
史料群：北川家文書

【調査風景】



近代部会活動報告（2025 年 3 月～2025 年 6 月）

2025/7/1 編さん編集委員会

1, 部会の開催

・第 12 回部会：3 月 29 日（土佐市立市民図書館会議室）

①近代資料編Ⅱの編集に向けて（目次構成案・今後のスケジュール等）、②資料編Ⅱの時期区分、
③クラウド登載資料の現状、④『細川義昌日記』の翻刻、⑤各委員の個別調査の報告、⑥オーテ
ピア高知図書館所蔵資料の閲覧問題

・第 13 回部会：6 月 22 日（含オンライン）

①資料編Ⅱの時期区分と目次構成案の検討（⇒別紙 A・別紙 B）、②調査執筆委員の委嘱、
③翻刻の体制整備と協力者への依頼、④9 月合同調査に向けて

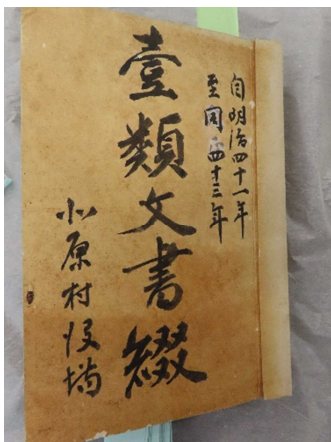
2, 部会活動の状況

（1）3 月合同調査の実施 3 月 27～29 日 於土佐市立市民図書館

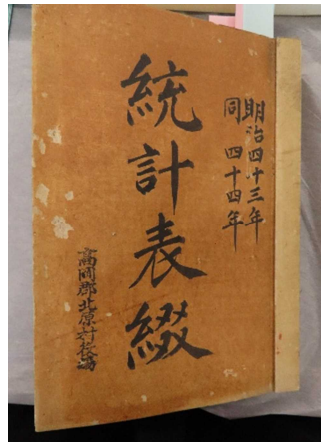
土佐市市民図書館所蔵「北原村役場資料」の調査と写真撮影

・『北原村役場資料目録』（2010 年、土佐市民図書館） 高岡郡旧北原村役場資料 582 点

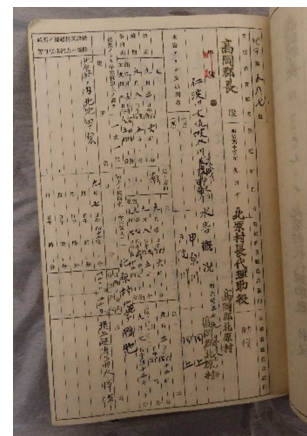
・目録及び撮影資料はクラウドへ登載済み



『壹類文書綴』



『統計表綴』



「仁淀川水系波介川流域水害概況」(1910 年 9 月 10 日)

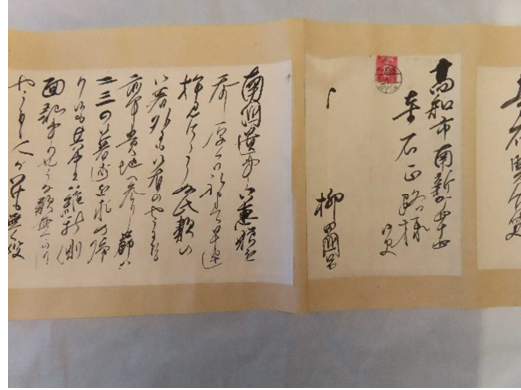
(2) 各委員の個別調査

- ・「寺石正路資料」（高知県立歴史民俗資料館所蔵）の調査

明治～大正期の日記、旅行記、スケッチ、『恩光余影』（著名人からの寺石宛書簡）



『恩光余影』



1916年8月8日 寺石宛柳田国男書簡

- ・「安芸文庫」（オーテピア高知図書館所蔵）の調査 安芸喜代香の関係資料

『吾家の歴史』9冊（明治36年～大正10年）、『吾家の図書目録』、『日記』（明治26～28年）

- ・旧香美郡域の治水遺跡（山田堰、甫喜峰用水、かんがい溜池）、災害記念碑などの調査



香美市・春野神社（祭神野中兼山）



「重修山田堰之碑」（1896年1月建立）



香南市・下井溝改築記念碑

(1892年水害、1898年11月建立)

3, 今後の部会スケジュール

- ・第14回近代部会の開催 9月17日(水) 各委員の調査現状報告会として開催
- ・2025年度第1回合同調査 9月18日～19日

須崎市教育委員会所蔵資料+須崎市議会資料

(別紙 A)

『高知県史 近代資料編2』が対象とする時期について (修正)

1889 年～1918 年 市制・町村制の施行から第一次世界大戦終結・米騒動までの時期

*ジャンルや項目によっては、この前後の時期の資料を含むこともある

(1) 中央の政治動向

〈始期〉 ①市制・町村制の公布と施行 (1888 (明治 21) 年 4 月 25 日、1889 年 4 月 1 日)

帝国憲法の公布 (1888 年 2 月 11 日)、第 1 回総選挙の実施 (1890 年 7 月 1 日)、

1 回帝国議会の開会 (同年 11 月 29 日)

〈終期〉 ①米騒動の勃発・原敬内閣の成立

1918 年 8 月 15 日以降、高知県内での米騒動

1918 年 5 月 11 日政友会総裁原敬の高知遊説、1918 年 9 月 29 日 原内閣成立

1919 年 2 月 11 日 帝国憲法発布 30 周年、政友会高知支部が幸徳秋水に感謝状

②大戦の終結とパンデミックの始まり

1918 年 11 月 11 日 第 1 次世界大戦締結 翌年 6 月 28 日 ヴェルサイユ条約調

印

1918 年 8 月～1919 年 7 月 スペイン風邪の「第 1 回流行」(内務省衛生局)

(2) 高知県政の動向との関連

①高知県知事の交代 田辺良顕から時任為基へ

田辺良顕 1883 年 3 月 7 日 (県令・知事) ～1888 年 2 月 29 日

時任為基 1888 年 3 月 2 日～1889 年 6 月 8 日

以後、調所広丈、丸岡完爾、石田英吉、末広直方、谷河尚忠、渡辺融、宗像政、鈴木定直、石原健三、杉山四五郎、永井金次郎、土岐嘉平、柿沼竹雄と続く *30年で14人の知事

②柿沼竹雄知事（1916年10月13日～1919年4月18日）

柿沼県政までを「近代資料編2」の対象とする

③1918年10月5日 県会議員選挙 政友会が憲政会にかわり多数派となる

「顧みれば、我県選挙の結果も亦実に民心の暗遷黙移する事実を語れり。過去十数年の間、詐れる選挙のために圧迫せられたる反動の力は、更に世界的に襲ひ来れる大勢の教訓に呼応して、始めて闔県覚醒の第一歩を打明せり。」（『土陽新聞』1919年10月22日付）

④阿部亀彦知事（1919年4月18日～1922年10月16日）以後を資料編Ⅲの時期とする

「阿部知事の本県在任中に於ける功労は、今更継求する迄もなく、実業に、教育に、土木に万般の行政事務に、悉く識見ある政策を実現し、或は道路・港・橋梁・交通機関を設営し、或は漁港を修し、河川を整理し、或は林業政策及び農村・漁村の政策を樹立し、尚ほ商工政策並に水電政策の確立を図り、又は教育機関を整頓して、其の内容改善に鋭意する等、其の怪腕を揮ひ、在任中県下の山間僻地までも、その足跡を印せざるなき活動と努力を以てして、県に適合したる政策の遂行を期せられたは、在来の地方官中稀に見るの明府であった。」（『土陽新聞』1922年10月29日付）

「阿部知事の時代に於て営為された県政は、多く憲政会多数時代の消極政策の余殃を匡求するた
めのもので、多年に欠陥に対し僅かに之れを補ふたものに過ぎず、県治としての真の仕事は、有為の長官に依つて営まるゝ今後の施設にある。」（『土陽新聞』1922年10月27日付）

(近代資料編 2 構成案) (2025年7月1日第12回編さん編集委員会)				資料 1
章	節	主要項目	含まれる小項目	担当者
Ⅰ 政治・行政	県政・郡制	知事		飯塚
		県会議員選挙		飯塚
		高知県会意見書・建議書		飯塚
	市制・町村制	郡制・郡会		飯塚
		町村合併		飯塚
		条例の制定		飯塚
		高知市長の選任		飯塚
		町村政・町村会（事務報告書・意見書・建議書等）		飯塚
		町村町会		飯塚
		町村是		飯塚
		第一回総選挙		飯塚
		地価修正運動		飯塚
		第二回総選挙と選挙干渉		飯塚
		日清戦争後の台湾巡査任用運動		飯塚
		日清戦争後の政治状況		飯塚
		永小作権につき請願運動		飯塚
		日露戦争期の政治状況		飯塚
		日露戦争後の政治状況		飯塚
		日露戦争後の町政・村政改革運動		飯塚
	社会資本の整備	道路・橋梁、鉄道、港湾、郵便局、電信、裁判所		飯塚
	地方改良運動	地方改良運動		飯塚
		「明治」から「大正」へ		飯塚
Ⅱ 戦争と社会		日清戦争と日露戦争	〔日清戦争前の徴兵〕 徴兵事務、徴兵の具体相（22連隊への入営など）、徴兵に対する地域の反応（徴兵忌避など） 〔日清戦争〕 動員、歩兵第22連隊の動向、地域の動向（軍資献納、軍事援護など）、戦没者の処遇〔歩兵第44連隊〕 連隊誘致と兵営敷地献納運動、44連隊の設置、陸軍演習 〔日露戦争 動員、歩兵第44連隊の動向（出征から凱旋、補充大隊）、軍事援護団体（高知恤兵通信会・高知武揚協会・市町村の兵事会と婦人会）、戦没者の処遇（公葬、忠魂墓地の設置）、赤十字、愛国婦人会 〔日露戦後〕 戦後の地域社会（帝国在郷軍人会の発足、安芸郡の徳島連隊区への移管など）、44連隊の動向（南満州の守備など）、戦利品	小幡
		第一次世界大戦	〔第一次世界大戦〕 地域の動向（軍資献納、軍事援護など）、戦利品 〔シベリヤ出兵〕 歩兵第44連隊の動向、陸軍演習	小幡

Ⅲ 疾病・災害と地域管理	伝染病の流行		伝染病の流行と予防（衛生）	飯塚
		伝染病対策	伝染病の流行、私立衛生会、衛生組合	飯塚
		病院と医師	高知県病院、済生病院、各郡医師会、産婆と出産	飯塚
		遊郭		
	風水害	1890年水害、1912年水害、四万十川（明治の三大洪水）	県内各地の被害状況	羽賀
	その他の災害	干害	干害、灌漑施設	羽賀
		海難事故		羽賀
	救済・復旧	救済と災害復旧	罹災民救済、復旧事業	羽賀
	警察・消防			飯塚
Ⅳ 産業・経済	土佐の農山村経済	農家経営	農家経営、地主小作関係	坂口
		農業	米、養蚕、柑橘、養鶏、畜産、農業団体（農会・産業組合）、農業基盤の整備（水利工事、耕地整理、むら仕事）	坂口
		農家副業の展開	和紙、酒造、座繰製糸	坂口
		林業		坂口
		鉱業	石灰、銅山	坂口
	土佐の漁業経済	川の漁業、海の漁業	捕鯨	小堀・坂口
		漁業の振興	漁業組合、愛媛県との紛争、漁業奨励	小堀・坂口
		水産業の展開	鯉節、缶詰、珊瑚加工	小堀
	土佐の近代工業	諸地域の概況		小堀
		器械製糸		小堀
		製紙工場		小堀
		セメント		小堀
		その他工業	鉄工、造船など	小堀
	インフラの発展	陸上交通の展開	官鉄・国鉄、土佐電、その他鉄道計画、道路、人力車	小堀
		水上交通の展開	港湾改良、海運会社の叢生と合同、運河	小堀
		電力	水力発電、火力発電、発電所の煙害	小堀
		通信	郵便、電信・電話	小堀
		都市計画	高知市市区改正、公会堂	小堀
	商業と金融	商業	商事会社、商店振興政策、取引所	小堀
		金融業	銀行、特殊銀行、郵便貯金	小堀
	土佐の経済思想	経済思想		小堀
Ⅴ 社会・社会運動		社会事業	・板垣退助と社会改良運動　・高知育児会　・土佐慈善協会 ・高知育児会が土佐慈善協会を合併、高知慈善協会　・高知育児院	筒井
		被差別部落	・高知県の部落改善運動　・高知県の融和運動	筒井
		労働環境と労働運動		筒井

		初期社会主義と大逆事件	・土佐平民倶楽部 ・幸徳秋水の帰郷 1906年7月 中村町、入野村で演説会 1907年11月～1908年7月 『麵麴の略取』 翻訳 中村町で演説会 ・大逆事件の土佐人 幸徳秋水、奥宮健之、坂本清馬、岡林寅松、小松丑治	筒井
		米騒動	図録「高知県社会労働運動史展」より高知県の米騒動 『高知県社会労働運動史年表』より米騒動関係	飯塚
		様々な運動と住民運動		筒井
		女性をめぐる問題	・吸江女史と竹幽女史 1889年3月女権をめぐる論争 ・明治20年代 高知県の婦人団体 『女学雑誌』 記事 ・日清戦争 高知県女性の動き ・戦争と婦人会 愛国婦人会高知支部、高知報国婦人会 ・婦人会の慈善事業 ・大塚楠緒子の反戦詩「お百度詣」 1905年1月『太陽』 ・細川雅とフェリス女学院 ※女性日記「細川梶日記」「細川雅日記」の活用	?
		青年の活動	青年会、青年団	筒井
		生活の変化	(衣食住、結婚と子ども、娯楽、町場化・都市化)	
VI 教育	小学校教育の拡大	小学校令とその改定	義務教育法制 六年制への移行	谷川
		初等教育をめぐる高知での教育論議	教育の未来・展望 八年制へ向けた議論	谷川
		地域と小学校	街の学校の日常（旭小） 農山村の学校の日常（大津小、中浜小）	谷川
		家庭との連携	通知簿 同盟罷校	谷川
	小学校卒業後の学校	実業補習学校の成立	補習学校設置をめぐる政策・法制 補習学校の成立状況 種別の諸相（農業補習学校、商業補習学校）	谷川
		女子の中等教育	街の高等女学校（1893県高女） 郡部の実業高女（幡多郡実業女学校～1918幡多郡立高女）私立女学校（土佐女、高知女学会） 女子技芸学校	谷川
		男子の中等教育	県立中学校（一中、海南、二中の設置と解消、安芸中・中村中の設置） 農業学校（1890農学校～農林学校～1921農業学校） 商業学校（1898簡易商業学校～高知商業） 工業学校（1912私立高知工業学校～1923県立）	谷川
	多様な教育機関	旧制高知高校への道	高等教育機関を望む声（1921校地確保 第3巻へ？）	谷川
		師範教育	女子師範の動向（1886女子師範の統合・女子部、1915本科第二部廃止） 師範学校の展開（男子）	谷川
		就学前教育	幼稚園、育児院	谷川
		医学教育	私立医学校	谷川
		特殊教育	矯正教育 障害児教育	谷川

		私塾・社会教育とその機関	夜学会から青年会 私塾・社会教育（青年養成、裁縫塾） 善行表彰 国民教化と青年団	谷川
	教育の活動と実践・思想	教員組織の活動	教育界をめぐる動向 教員の活動と実践・思想 教育界雑誌における言論	谷川
		実践者と「土佐の教育」	教員個人の語り（明治後期） 西山庸平の生活教育 「土佐の教育」観	谷川
	<子ども>の諸相	日記や文芸作品にみる土佐の子ども	子どもの日記	谷川
		新聞や小説に描かれる土佐の子ども		谷川
VII 文化	高知のメディア	新聞	・『土陽新聞』自由派 ・『高知日報』国民派 ・高知県政界の分裂と『土陽新聞』争奪 ・『高知新聞』創刊 ・『土陽新聞』政友会系⇔『高知新聞』非政友会系 ・様々な新聞発行	筒井
		雑誌発刊と出版界		羽賀
	図書館の設置と活動	図書館	高知図書館の設立、高知県図書館の開設、県内の図書館、川田文庫、巡回文庫	羽賀
		図書館人の活動	『土佐図書倶楽部』の創刊、高知県図書館館員の活動	羽賀
		図書館蔵書の形成	集書方針、蔵書数と分類法	羽賀
	郷土史研究と文化財	郷土史家の登場	寺石正路、武市佐市郎、松野尾章行、掃苔録	羽賀
		郷土研究団体の設立	『土佐史談』の刊行、県内の歴史研究会、『佐川徴古会雑誌』	羽賀
		高知県史の編纂	県史編纂への動き、中城桃園、各郡誌・村誌	羽賀
		史蹟名勝天然記念物保存法	史籍顕彰、保存法	羽賀
		偉人顕彰	野中兼山、義民顕彰、皇室と高知	羽賀
	史蹟と公園	高知公園の開設	高知公園、懷徳館、皇太子嘉仁の行啓	羽賀
		県内の公園開設	鷺洲公園、中村町立公園	筒井
	文学と芸術	文学		
		美術	・明治28年 土佐美術協会 ※土佐美術協会規則 ・明治40年 土陽美術会 ・明治40年 土佐写真会 ・明治43年 土佐美術協会と土陽美術会の合同 ・明治44年 土曜美術会展覧会批評 ・大正5年 土曜美術会展覧会批評	筒井

		音楽	明治25年 牧野富太郎回想「高知における西洋音楽の普及運動」 明治25年 高知音楽研究会 明治40年 板垣伯の風俗改良論(5) 第7 家庭音楽の必要 明治41年 土佐の一弦琴 明治43年 安芸愛山 高知公園に音楽堂を急造せよ 大正3年 音楽大講習会、講師（外山国彦） 洋琴の寄附 県立高等女学校校友会長 大正7年 音楽大演奏会 高知新聞社主催 本県最初の試み 大正8年 海軍音楽隊 高知公園での奏楽 県立高等女学校講堂で海軍々楽隊演奏会 高知慈善婦人会県下音楽大会を開催 大正9年 高知フィルハーモニカ主催第2回音楽大演奏会 ・日清戦争と音楽 明治28年 高知座救恤音楽会 ・日露戦争と音楽 明治37年 各種団体の恤兵音楽会 ・音楽教育 各地における音楽講習、女子音楽伝習所開設	筒井
	芸能とスポーツ	芸能	古典芸能、茶道・華道、大衆芸能、民俗芸能	筒井
		スポーツ	体育教育を含む	筒井
VIII 宗教	キリスト教団の活動	教団活動	高知教会、多田素、土佐教会、砂川竹蔵、地方伝道、聖公会	羽賀
		細川義昌・梶、安芸喜代香	日記に見る布教活動	羽賀
	仏教教団の動向	仏教教団		羽賀
	神社制度・神道	神社制度	創建神社、中村大神宮、一宮塩竈神社、社格昇格運動、神饌供進制度	羽賀
	新宗教の展開	新宗教	天理教、神宮教	羽賀
	民間信仰	民間信仰・行事		羽賀
IX 人口と移動	近代高知の人口	人口統計		羽賀・村中
		人口関係資料	戸籍制度、寄留制度、人口調査	羽賀・村中
	移住と移民	国内移住	北海道、高知殖民会、武市安威	坂口・村中
		植民地と高知県人	台湾、朝鮮	坂口・村中
		海外移民	ブラジル、その他地域	坂口・村中
X 特論（近代高知の特色）				
	山内家・旧家老家・旧藩士族	山内家と旧家老家	山内家の役割、旧家老家、山内家編輯所	奈良
		士族問題	復禄請願運動と維新殉難者・民権運動顕彰運動	奈良
		祖先祭祀・神格化	山内家、加賀野井家（双光神社）	羽賀
	四国霊場・西国巡礼	霊場資料	寺院調査、霊場所蔵資料	羽賀
		巡礼記録		羽賀
	近代高知の地域性	室戸岬と足摺岬		羽賀
		土佐論・土佐人論		羽賀
		紀行文に見る高知県	大町桂月（「三十八年ぶりの故郷」）	羽賀

現代部会の調査および編集に向けた対応状況について

令和 7 年 7 月 1 日
高知県史編さん現代部会

1 資料編第 1 巻の進捗状況と今後の予定

(1) 資料収録 (第 1 巻は重点資料を収録する)

仮目次案を作成(前回編集委員会で提示)し、委員は仮目次に基づいた収録候補資料を部会において提出し説明を重ねている。

(2) 各委員による資料提出と選定理由の説明

○令和 6 年 8 月部会 (選定資料の一例)

- ・『県民クラブ』「モデル農村の構想」1953 年 3 月 (高知広報社)
- ・『県民クラブ』「本県の生産力をどうして高めるか」1958 年 9 月 (高知広報社)
- ・『南米視察報告書』1956 年 10 月 (高知県)

○令和 7 年 3 月部会 (選定資料の一例)

- ・『教育月報』「へき地の学校訪問記」1954 年 4 月 (高知県教育委員会)
- ・『高知るねさんす』「創刊号 発刊のことば」1948 年 3 月 (高知県教職員組合)
- ・『広報にしとさ』「出稼者の生活と願いアンケート調査」1970 年 5 月 (西土佐村役場)

(3) 資料編第 1 巻における構成

○令和 7 年 6 月のオンライン部会において政治・行政に関する項目を追加提出

○第 1 巻の構成(仮目次含む)がおおよそ確定してきたので、令和 8 年 9 月の目次確定を念頭におきつつ、引き続き部会にて協議を進める。

(4) 今後の予定

令和 7 年 8 月部会及び令和 8 年 3 月部会で、各委員から資料提出と目次整理を進める。

2 高知県史現代に関する調査報告会(意見交換)の実施

○発表者を決め、対面部会時に 30 分報告と 30 分討論を実施している。

○高知県の現代への理解を深めることで、資料編の解説執筆や将来の通史編に向けた共通認識を高めるよう、今後も継続的に議論を重ねる。

○令和 6 年 8 月

1945～2000 年の県民生活に関する数量的報告(くらし：倉敷委員)
人口、転出、教育水準、新卒就職先、就労による県外転出、
世帯形成、就労産業、女性の就労、妊娠など、従来まとまって
報告されることのなかったデータの整理と報告

令和 7 年 3 月

高度経済成長期における高知県の経済構造の変化について

(産業・経済：岩佐副会長)

人口変動、就業構造、市町村レベルの変化と経済生活

3 資料編の編集に向けた対応について

(1) クラウドの整備 (令和 7 年 2 月)

現代部会の課題であった資料整理(クラウド整備)を院生(博士課程)に依頼し、現代部会と院生で協議しつつ作業の進め方を定め、クラウドに保存している資料の目録フォーマット化等について対応した。

(2) 翻刻について (事務局)

○令和 8 年度からの編集開始に向け、令和 7 年度より翻刻を開始するため、令和 7 年 6 月の部会にて翻刻の内容(新旧字体等の取扱など)を協議した。

○選定資料について、掲載の可能性が高い資料から翻刻を進める。

4 資料調査の状況について

(1) 政治・行政に関する資料調査

○実施日：令和 7 年 5 月 2 日～4 日

○調査者：本井委員

○調査先：公文書館(知事引継書)

オーテピア高知図書館(知事選、県議選新聞記事)

(2) 教育に関する資料調査・聞取調査

○実施日：令和 7 年 5 月 29 日～30 日

○調査者：大門部会長(資料・聞取)、内田委員(聞取)

○調査先：オーテピア高知図書館(戦後 10 年間の学校文集等)

元県立高校教員への聞取り(勤評問題に関する経験等)

(3) 沿岸漁業(定置網漁業)に関する実態調査

○実施日：令和 7 年 6 月 2 日

○調査者：細谷委員・森委員

○調査先：室戸市の定置網漁業「椎名大敷組合」への実態調査
(操業に関することなどを船上にて聞取り)



(4) 山村振興に関する資料調査・聞取調査

○実施日：令和7年6月3日

○調査者：細谷委員

○調査先：四万十市西土佐総合支所（資料）
道の駅よって西土佐 林駅長（聞取）

5 令和7年8月合同調査と部会に向けて

(1) 合同調査

○地域：県東部（安芸郡・旧香美郡）を予定

○内容：市町村役場等の資料調査を検討中

(2) 部会内容

○委員による資料編第1巻の候補資料の提出と説明

○高知県史現代に関する意見交換の実施（発表者：大門部会長）

令和 7 年度高知県史編さん編集委員会考古部会資料

令和 7 年 7 月 1 日

1、部会および編集編さん委員会の年度計画（含む履歴）

（1）第 1 回リモート部会（4 月 4 日）：

- ①編集方針の承認、
- ②仮称 4 世紀問題について、
- ③刻書土器について、
- ④弥生と古墳の掲載遺跡についてのお願い、
- ⑤「ときのあかし」次号は、龍河洞（宮里委員）と朝倉古墳（清家委員）

（2）5 月中旬までに（1）の②③について検討（宮里委員・助言協力者）

（3）5 月下旬に 7 月 1 日の令和 7 年度第 1 回編集委員会資料作成

（4）第 2 回リモート部会（6 月 10 日）：

- ①刻書土器と仮称 4 世紀問題の方針と調査体制・計画などについて
（宮里委員・助言協力者）、
- ②古代調査計画案について（大橋委員）
- ③令和 7 年度第 1 回（通算第 12 回）編集委員会資料の承認
- ④次年度調査計画と予算についての投げかけ
 - ア、龍河洞の 3 次元計測
 - イ、自然科学分析
 - ウ、沖の島の三浦家関係資料調査
 - エ、広報活動
 - オ、有料 AI の導入等
- ⑤部会活動の情報発信について報告（部会担当）、
- ⑥沖の島と鶴来島の準備調査報告（松田副部長・吉成委員）
- ⑦地理環境調査報告（鋤柄部長、調査協力者）
- ⑧ 7 月 21 日の高知考古学研究会での令和 6 年度考古部会活動報告につ
いて（鋤柄部長）
- ⑨部長担当の準備調査計画について（再掲）

（5）令和 7 年度第 1 回（通算第 12 回）編さん編集委員会（7 月 1 日）

- ①刻書土器についての部会方針、
- ②令和 7 年度計画

※可能であれば文化財部会・古代中世部会などとの協議も？

(6) 第3回リモート部会（7月下旬～8月）

- ①改めて刻書土器の部会方針についての確認（鋤柄部会長）
- ②旧石器の調査および編集計画について（部会担当）
- ③縄文時代の調査および編集計画について（部会担当）
- ④弥生時代の調査予定について（宮里委員）
- ⑤古墳時代の調査予定について（清家委員）
- ⑥7月実施古代準備調査の報告（大橋委員）
 - ア、4日：奈半利町コゴロク廃寺、香南市徳善窯跡
 - イ、5日：南国市土佐国分寺関連
 - ウ、6日：高知県立歴史民俗資料館
 - エ、7日：南国市土佐国分寺関連
- ⑦山城の調査予定について（松田副部会長）
- ⑧中世の準備調査予定について（吉成委員）
- ⑨6月実施近世準備調査の報告（迫川委員）
 - ア、7～9日：本山町等、県立埋蔵文化財センター
- ⑩次年度計画と予算についての相談
- ⑪令和7年度編さん委員会資料の承認
- ⑫第2期計画（令和8～12年）の投げかけ

(7) 編さん委員会（9月5日）

- ①刻書土器の部会方針
- ②令和6年度活動報告と令和7年度計画

(8) 第4回リモート部会（9月後半）

- ① 編さん委員会報告（鋤柄部会長）
- ② 古墳時代調査報告（清家委員）
- ③ 令和8年度計画にかかる予算案の承認
- ④ 第2期計画（令和8～12年）の承認
- ⑤ 令和7年度（通算第13回）編集委員会資料について

(11) 朝倉古墳石室3次元測量委託業務現地測量（10月？）

(12) 令和7年度第2回（通算第13回）編集委員会（10～11月？）

- ①令和7年度上半期調査報告と令和8年度調査および編集計画
- ②第2期計画（令和8～12年）について

(13) 第5回部会（11月1・2日 ※対面）：龍河洞確認調査

2、部会委員の調査予定（含む履歴）

4月30日：宿毛市文化財挨拶（鋤柄部会長・下村チーフ・部会担当）

5月1日：宿毛市沖の島三浦一族関連資料基礎調査（鋤柄部会長・松田副部会

長・部会担当)

5月2日：宿毛市鶴来島戦跡関連基礎調査（鋤柄部会長・松田副部会長・吉成委員・部会担当・助言協力者）

5月3日：南国市物部川旧流路調査（鋤柄部会長・調査協力員・部会担当）

5月末迄：刻書土器仮案策定（宮里委員・助言協力者・部会担当）

6月：4世紀問題の調査の段取り（宮里委員・助言協力者・部会担当）

6月7日：本山町内近世遺跡（山内刑部夫妻の墓、上の坊本山南学寮跡、野中兼山母の墓、本山城）調査（松田副部会長・追川委員）

6月8日：県内近世遺跡の現地確認と出土物調査（松田副部会長・追川委員）

6月9日：県内近世遺跡の出土物調査（追川委員）

7月4～7日：国分寺資料調査（大橋委員・調査協力者）

7月21日：高知考古学研究会で令和6年度考古部会活動の報告（鋤柄部会長）

夏期休暇期間中：新改横走古墳石室測量調査（鋤柄部会長・清家委員）

年度末までに戦跡の基盤情報の作成（鋤柄部会長）

3、事務局の調査予定（含む履歴）

旧石器：実地調査～5月、調査カード作成6月～、ページレイアウト（部会担当）

縄文：調査カード作成、ページレイアウト（部会担当）

弥生：仮称4世紀問題の資料整理と居徳遺跡遺物実測9月以降（調査協力者・部会担当）

4、調査速報

（1）地理環境

（2）旧石器

（3）縄文

（4）仮称4世紀問題

（5）古代調査計画

5、課題

（1）文化財部会・古代中世部会との調査資料分担協議（弥生時代の青銅器、鰐口など美術工芸品の紀年銘入り金属製品、墨書土器・刻書土器、郡衙と郡寺、守護所、『土佐日記の地理的研究』をはじめとする諸資料やテーマについて）

（2）近世部会との兼山・高知城下についての調査連携協議

（3）民俗部会との地名調査連携協議

- (4) 近代部会・文化財部会・歴史文化財課との戦跡調査協議
- (5) 小蓮古墳石室データ利用についての調整
- (6) 歴史文化財課および関連部会との水中遺跡についての協議
- (7) 山岳信仰、山寺跡関係の調査について
- (8) 石造物の基盤情報と調査計画の策定
- (9) 令和8年度の県史編さん考古部会普及啓発事業の展開
- (10) 「学史」の執筆と編集計画について

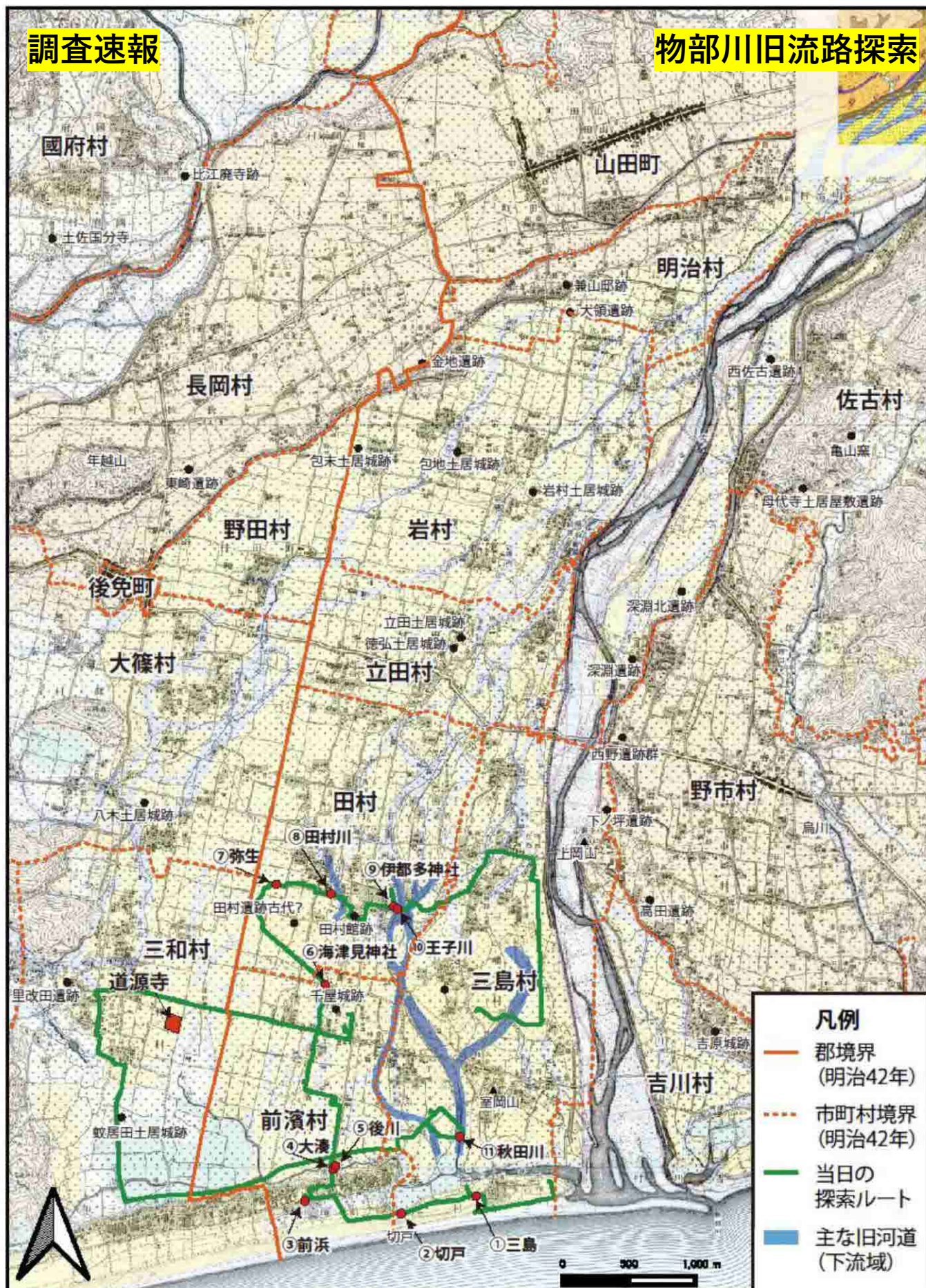


図 物部流域の集落・旧河道（明治42年時点）と主な遺跡分布

資料：「今昔マップ on the web」および国土地理院「治水地形分類図」（地理院タイル、<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>）をもとに作成

物部川探索の写真（鋤柄部会長撮影）丸数字は地図中の番号に対応



①三島神社



②切戸



③前浜（伊都多神社）



④大湊



⑤後川



⑥海津見神社

物部川探索の写真（鋤柄部会長撮影）丸数字は地図中の番号に対応



⑦やよい広場



⑧田村川排水路



⑨伊都多神社



⑩王子川



⑪秋田川

高知県史考古資料編1 “旧石器時代” 進捗管理表																
作業 No.	遺跡名		所在地	時期	発掘調査	報告	内容									
	名称	読み方					報告書		包蔵地調査カード	図版				文章		
							PDF	OCR		位置図	遺構分布図	遺構図	遺物	遺跡の概要	調査研究の成果	遺跡の価値
1	高間原古墳群	たかまがはら	高知市介良	細石刃	○	報告	○	○	○	○			○	○	○	
2	宇須々木遺跡	うすすき	宿毛市宇須々木	ナイフ	×	報告	○	○	○	○			○	○	○	
3	竜ヶ迫遺跡	たつがさこ	大月町	ナイフ	○	報告	○	○	○	×						
4	奥谷南遺跡	おくたにみなみ	南国市岡豊町	ナイフ・細石刃	○	報告	○	○	○							
5	新改西谷遺跡	しんがいにしに	香美市土佐山田町	ナイフ	○	報告	○	○	○	×	×					
6	大月町内河岸段丘	だいげつちうちがしき	大月町	ナイフ・細石刃	○	報告	○	○	○	×						
7	平野遺跡【地区】	ひらの	四万十町	ナイフ・細石刃	×	報告	○	○	○	×						
8	双海遺跡【地区】	ふたみ	大月町	ナイフ	×	報告	○	○	○	×	×					
9	土佐清水沿海岸	とさしみずさんみづがし	大月町	ナイフ・尖頭跡	×	報告	○	○	○	×	×					
10	四万十川流域	しまんとがわのうら	四万十町西土佐・中村	ナイフ・細石刃	×	報告			○	×	×					
11	松田川流域	まつだがわのうら	宿毛市	ナイフ	○	未報告	○		○	×	×					
12	物部川流域	ものべがわのうら	香美市・香南市	ナイフ	○	報告	○		○	×	×					
13	その他の地域	そのたのちいさ	須崎市・黒潮町	ナイフ・尖頭跡	○	報告	○		○	×						

高知県史考古資料編1 旧石器時代 進捗管理表

高知県史考古資料編1 “縄文時代” 進捗管理表 (R7.5.20更新)																	
通し No.	作業 No.	遺跡名		所在地	時期	発掘 調査	報告	内容									
								報告書		包蔵地調査カード	図版				文章		
		PDF	OCR					位置図	遺構分布図		遺構図	遺物	遺跡の概要	調査研究の成果	遺跡の価値		
1	1	山根遺跡	やまね	高知市春野	後期	○	報告	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
2		江師遺跡	えし	四万十町大正	縄文弥生	○	未報告	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
3	3	刈谷我野遺跡	かりやがの	香美市香北町	早期	○	報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4		鴨部遺跡	かもべ	高知市春野	晩期	○	報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	5	車木遺跡	くるまき	四万十市西土佐	前期	○	報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	2	尻貝遺跡	しりがい	大月町	後期	○	報告	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
7		宿毛貝塚	すくも	宿毛市	後期	○	報告			○	○	○	○	○	○	○	○
8	8	江川中畝遺跡	えかわなかせ	四万十市西土佐	早期	○	報告			○	○	○	○	○	○	○	○
9	9	ヲキシヨウジ遺跡	をきしょうじ	四万十市西土佐	晩期	○	報告			○	○	○	○	○	○	○	○
10	11	飼古屋岩陰遺跡	かいごや	香美市土佐山田町	早期	○	報告			○	○	○	○	○	○	○	○
11	10	開キ丸遺跡	ひらきまる	香美市土佐山田町	早期	○	報告			○	○	○	○	○	○	○	○
12	12	庭ヶ渕遺跡	にわがぶち	香南市香我美町	晩期	○	報告			○	○	○	○	○	○	○	○

高知県史考古資料編1 縄文時代 進捗管理表

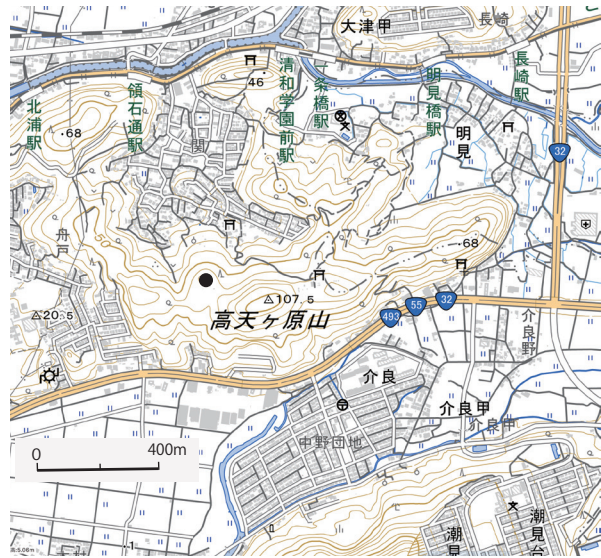
たかまがはら

1. 高間原古墳群・1号墳（高知市介良）

1. 遺跡の概要

高知平野の中央部、高知市介良に所在する。高間原古墳群は、東西に延びる独立丘陵高間原山（標高 107.5m）の東側鞍部、標高 60m 付近に形成された 10 基の古墳からなる古墳群である。1965 年 8 月、この古墳群の第一次調査として 1 号墳の発掘調査を行った際、玄室のほぼ中央の敷石面より 1 点の細石刃核が出土した。

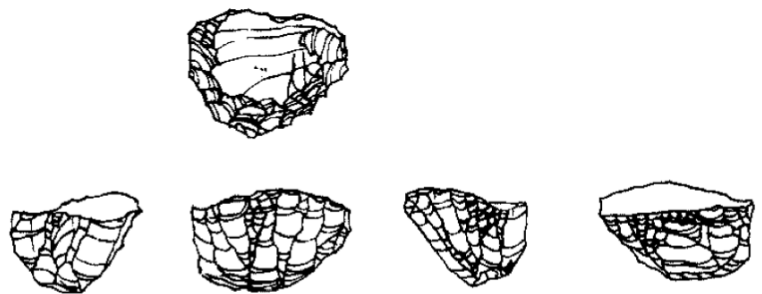
旧石器時代最後の後を代表する組み合わせ式の石器「細石刃」を剥ぎ取った後の石核を細石刃核と呼ぶ。高知県で初めて発見された旧石器時代の遺物である。



第1図 高間原1号墳 位置図 (S=1/25,000)

2. 出土状況と遺物の特徴

発掘調査の際には周辺も含めて精査されたが、確認された旧石器はこの細石刃核 1 点のみだった。半円錐形の分割礫を素材とし、正面と側面に細石刃を剥ぎ取った痕跡（フルーティング）を観察することができる。石器の大きさは、高さ 1.2cm、幅 2.0cm、厚さ 1.6cm、重量 3.43g、石材は光沢のある良質な漆黒のチャート。打面（押圧剥離により剥ぎ取りをはじめる面）には打面調整という細かい剥離があり、西南日本に広く分布する野岳・休場型細石刃核の特徴を持つ。



第2図 高間原1号墳出土 細石刃核 (S = 2/3) スケール後で追加

3. 遺跡の価値

当遺跡の調査で旧石器時代の遺物の存在が明らかになるまでは、高知には先土器時代に人はいなかったとされ、調査後もしばらくの間「旧石器の空白地帯」と称されていた。

高知の歴史が旧石器時代に遡ることをはじめて示したエポックとなる遺跡である。

古墳群のあるテラス状の鞍部と下方に広がる平野との比高差は約 50m、平野部を見下ろす平坦部にあり、周辺には石器原材料のチャート岩塊が点在するなど、旧石器遺跡としての立地は申し分ない。北方 4 km には南四国の細石刃文化期を代表する奥谷南遺跡がある。

文献

片岡鷹介「高知県高間原古墳出土の細石核」『とさ高間原古墳群 四国考古学叢書 I』1967 年

木村剛朗「34. 高間原古墳群（1号墳）遺跡」『南四国の後期旧石器文化研究』2003 年

かいこやいわかげ 1. 飼古屋岩陰遺跡 (香美市土佐山田町)

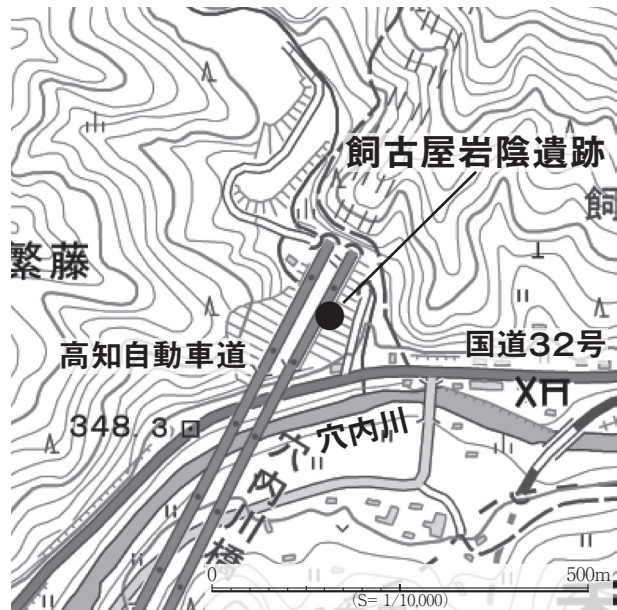
1. 遺跡の概要

飼古屋岩陰遺跡は、香美市土佐山田町繁藤字飼古屋に所在する(第1図)。

笹ヶ峰(標高1,131.4m)に源を発する穴内川左岸の山稜端部に所在し、チャートの岩塊下に形成された岩陰遺跡である。

高知自動車道の建設に先立ち、記録保存を目的とした発掘調査が行われた。

出土物は、縄文時代早期と弥生時代後期のものが中心である。



第1図 飼古屋岩陰遺跡位置図
(※国土地理院地図を加工)

2. 調査研究の成果

岩陰とその前庭部(C区)全体を発掘し、その前の畑(B区)とその下の水田(A区)は試掘とした。

C区のⅢ層とⅣ層から縄文時代と弥生時代の遺物が出土している。その下のⅤ層から近世陶磁器類が出土したためにC区の土壌は二次堆積として理解できるが、希少な資料が得られている。

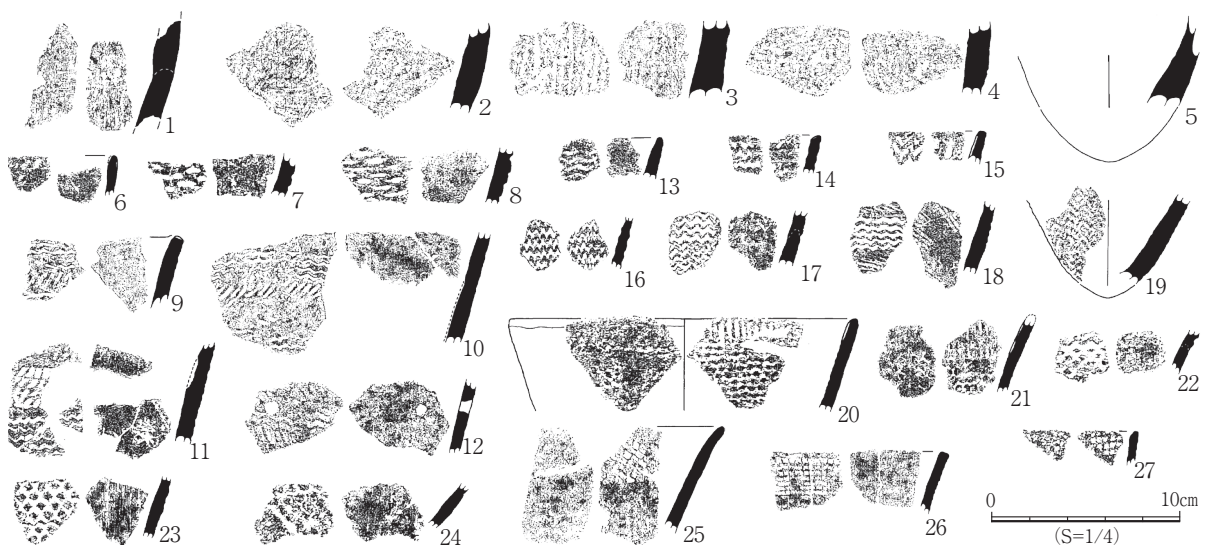
3. 遺跡の価値

縄文土器は、ネガティブ楕円押型文を持つ神宮寺式(第2図6～8)や、山形押型文と斜行押型文を組み合わせた神並上層式(第2図9～12)が出土している。よって、早期のものが中心と言える。

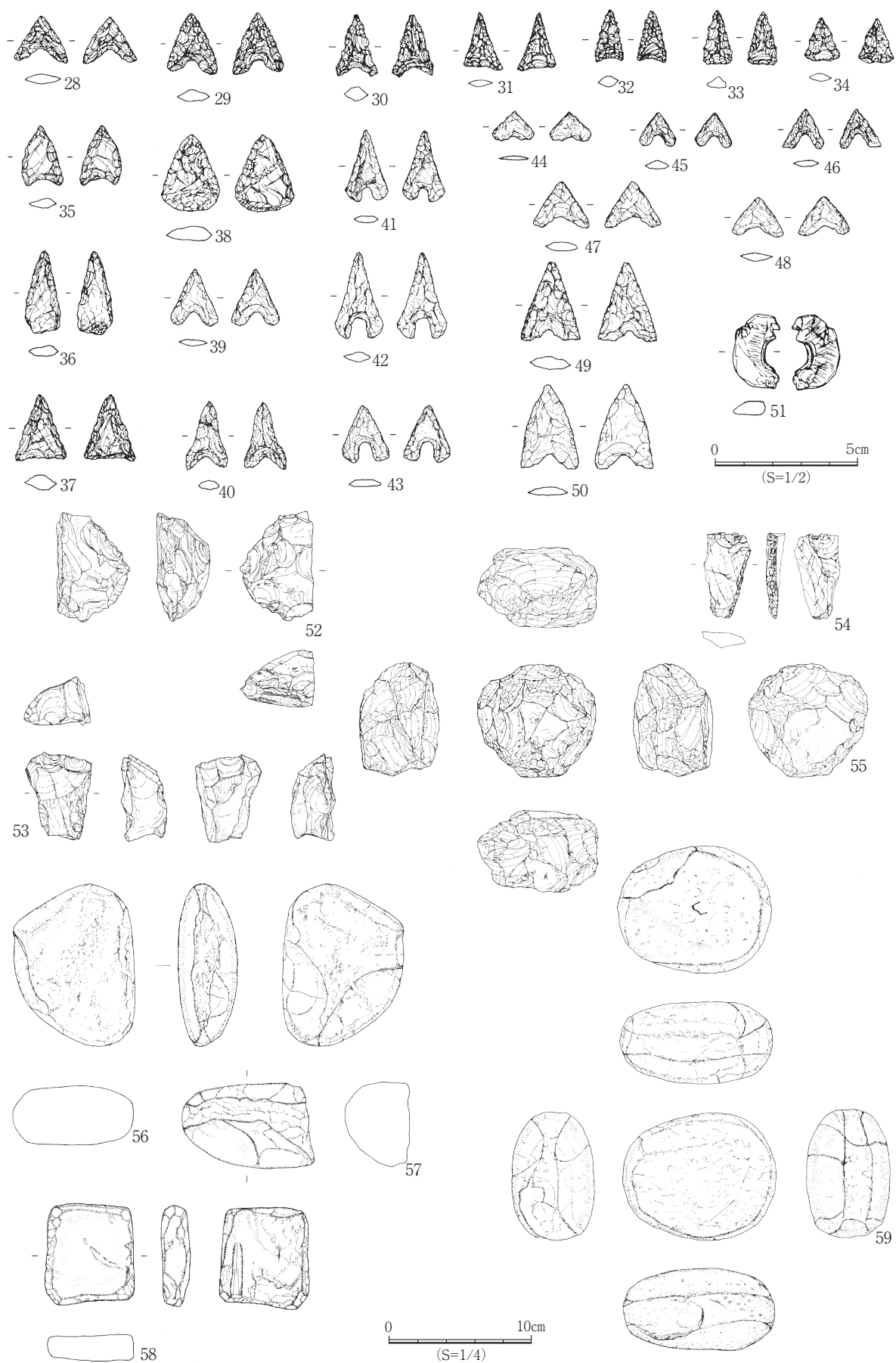
石器は、石鏃(第3図28～50)が卓越しており、岩陰が狩猟の拠点として活用されたことがうかがえる。そして玦状耳飾のようなもの(第3図51)は、縄文人の装飾の起源を考慮する上で重要である。

引用・参考文献

日本道路公団・高知県教育委員会 1983 『飼古屋岩陰遺跡調査報告書』



第2図 飼古屋岩陰遺跡出土土器(『刈谷我野遺跡Ⅱ』107頁より転載)



第3図 飼古屋岩陰遺跡出土石器(『飼古屋岩陰遺跡』より転載)

古代の調査計画（案）

大橋委員 作成

1

土佐国の官衙関連遺跡							
所在郡	所在地	種別	遺跡名	遺構	遺物	時期	備考
安芸	安芸市	官衙・寺院	瓜尻遺跡		瓦・水煙	7後一	
香美	香南市	官衙・寺院 の複合か	東野土居遺跡		瓦		
長岡	南国市 南国市	官衙 官衙	土佐国衙跡 若宮ノ東遺跡				
土佐							
吾河							
高岡	土佐市 土佐市	官衙関連 官衙関連	光永・岡ノ下遺跡 天神遺跡		緑釉陶器、暗文土師器		
	土佐市	官衙関連	西鴨地遺跡		緑釉・灰釉陶器、黒色土器、 製塩土器、木製祭祀具、鉦 尾・丸靱		
幡多	四万十市	祭祀か	具同中山遺跡群		巡方・丸靱		幡多郡中枢、 古墳時代以 来の祭祀
	四万十市	祭祀か	風指遺跡		緑釉陶器・黒色土器		

土佐国の官衙・仏教関係遺跡								
所在郡	所在地	種別	遺跡名	遺構	仏教関係遺物	時期	備考	参考文献
安芸	安芸市	官衙・寺院	瓜尻遺跡		瓦・水煙	7後一		
	奈半利町	寺院	コゴロク廃寺		瓦	7後一		
香美	香南市	寺院か	東野土居遺跡		瓦			
	香南市	寺院	宝鏡寺跡??					
長岡	南国市	寺院	土佐国分寺	金堂	瓦			
	南国市	寺院	比江廃寺	塔	瓦			
	南国市	寺院	野中廃寺	中門・金堂・塔・講堂・僧坊	瓦			
	南国市	山林寺院	奥谷南遺跡		瓦、灰釉陶器	10-		
土佐	高知市	寺院	秦泉寺廃寺		瓦			
吾河	高知市	寺院	大寺廃寺		瓦	・		
高岡	土佐市	寺院	野田廃寺		瓦			
幡多	宿毛市	寺院か			県立宿毛工業高校校庭出土の瓦	所在不明		

3

居宅・交通関係遺跡								
所在郡	所在地	種別	遺跡名	遺構	遺物	時期	備考	参考文献
安芸								
香美	香南市	道路	高田遺跡	道路跡	土器類	8前半-9		
	香南市	津・居宅	下ノ坪遺跡		緑釉、鏡	8前半-9		
	香南市	官衙関連、居宅	蘇我遺跡					
	香南市	居宅	十万遺跡					
	香南市	居宅	深淵遺跡		二彩緑釉、蛇尾、瓦			
長岡	南国市	道路	西野々遺跡	道路跡	土器類、転用硯	7後半-		
	南国市	道路	祈年遺跡	道路跡	土器類	7後半?-		
土佐	南国市	道路	五反地遺跡		土器類、転用硯	7後半-		
	南国市	官衙関連、居宅	里改田遺跡			8-	物部川河口渚	
	南国市	官衙関連、居宅	田村遺跡群					
吾河						・		
高岡								
幡多								

4

土佐国の官衙・仏教関係遺跡									
所在郡	所在地	種別	遺跡名	遺構	仏教関係遺物	時期	備考	参考文献	
安芸									
香美	香美市	瓦窯	新改東谷瓦窯		瓦				
	香美市	須恵器窯	小山田遺跡		瓦 錫尾・土 瓦				
	香美市	瓦窯	植タンガン窯跡					土佐山田町史	
	香美市	窯閉遺か	加茂ハイタノクホ遺跡				善通寺・仲村廃寺群九瓦と同発		
	香美市	須恵器窯	山本前田窯跡			9一			
	香美市	須恵器窯	林谷窯跡群			8C前半等か	以下土佐山田窯跡群	土佐山田町史/2003町の報告書	
	香美市	須恵器窯	大法寺西窯跡群			8C前半等か	広田氏所蔵	土佐山田町史	
	香美市	須恵器窯	入法寺東窯跡群			8C末頃含むか	「個人所蔵」	土佐山田町史	
	香美市	須恵器窯	新改東谷窯跡群			8C、3号遺物は9初頃?含む 8C	3基、町所蔵、瓦あり	S53町の報告書	
	香美市	須恵器窯	西谷窯跡群				土佐山田町所蔵		
	香南市	瓦窯	亀山窯跡				平安京・法勝寺		
	香南市	須恵器窯か	白岩窯跡群				正報告なし。香南市が少し図面 等作成		
	香南市	瓦・須恵器窯	徳善窯				7c 須恵器と瓦		
高岡 か?	佐川町	須恵器窯か	堂ヶ鼻窯跡				「高知城徳徳館所蔵」	県史1968、佐川町史(眞田典夫)	→「土佐の須恵器」記事
高岡 か?	佐川町	須恵器窯か	芝の嶺窯跡				「高知城徳徳館所蔵」	県史1968、佐川町史(眞田典夫)	→「土佐の須恵器」記事
高岡 か?	佐川町	須恵器窯か	花の本窯跡				「高知城徳徳館所蔵」	県史1970、佐川町史(眞田典夫)	→「土佐の須恵器」記事
幡多 か?	黒潮町 (旧大方 町)	須恵器窯か	観窯跡				「大方町所蔵」	不明	→「土佐の須恵器」記事
幡多 か?	黒潮町 (旧大方 町)	須恵器窯か	鹿々場窯跡			8C後半等か	「大方町所蔵」	県史、神ヶ谷窯跡(県蔵文)の記事 =「鹿々場窯報告書(S40)」はセンタ ー(なし)。	
長岡	南国市	瓦窯	奥谷南遺跡	平産	瓦	10-			
		瓦窯	若宮窯跡		平瓦、丸 瓦	8C中頃か	寺石正路資料。土佐園分寺、比 江廃寺、野中廃寺の供給窯か	野中廃寺2	
土佐									
吾河									
高岡	土佐市	須恵器窯	大ノ場窯跡			9c?	市街部の平地須恵器窯の遺地 でない。官衙遺跡(光永・岡ノ下遺 跡)が隣接		
幡多	宿毛市	須恵器窯	神ヶ谷窯跡						

5

その他	所在郡	所在地	種別	遺跡名	遺構	遺物	時期	備考	参考文献
安芸									
香美	香南市	祭祀	徳王子前島遺跡						
長岡									
土佐									
吾河									
高岡									
幡多									
★基本的な方針 県史候補遺跡の中で必ず扱う重要遺跡の土佐国分寺、秦泉寺廃寺、コゴロク廃寺などの寺院、土佐国府関係の遺物などを優先。寺院は他の遺跡と異なり、ほぼ全てで資料調査と記録化が必要 ・2025年度の計画 7月初め頃に土佐国分寺(第一候補)などを中心に現地で研究協力員と調査を4日ほど行う。予算の範囲内で、秋以降さらに2回おこなう。									

6

民俗部会 活動報告

最初に刊行される資料編 1『ことばと伝承（仮）』を中心に検討し、同時に本編第 1 巻の刊行に向けて、主な活動として下記の通り進めてきた。

1. 資料編 1『ことばと伝承（仮）』に向けて

資料編 1 は「民話」「民謡」「地名」の三章構成である。民俗部会委員および調査協力員からなる担当で作業を進めている。

各章の担当責任者には、「民話」に常光徹部会長、「民謡」に神戸大学名誉教授の岩井正浩氏(調査協力員)、「地名」に高知工業高等専門学校准教授の楠瀬慶太氏(調査協力員)があたっている。これまで各章の内容と紙面構成の決定に向けて協議を行い、今年度から具体的な執筆作業に入る準備を進めてきた。

「民話」

- ・構成は現在「民間神話」、「伝説」、「昔話」、「世間話」、「人物譚」の 5 つの章を設ける予定。
- ・編集に向け、昔話・伝説集などの単行本や市町村史、雑誌に掲載されている高知県の民話のリスト化作業を、県史編さん民俗部会担当職員と学生アルバイトによって進めている。
- ・民話研究者の市原麟一郎氏が生前に記録した録音テープや採訪ノートの調査。特に録音テープについては所蔵者である高知県立文学館から借用し、専門業者によって今年度秋までに音源のデジタル化を完了させる。
- ・3 月 10 日から 12 日にかけ、宿毛市の還住藪と沖の島、四万十市西土佐の大宮にて民話についての調査を実施。

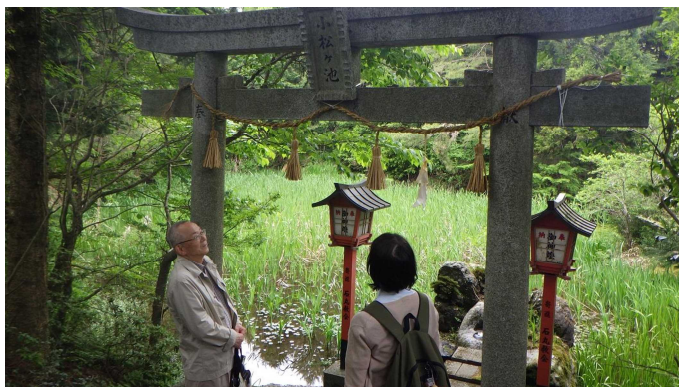


沖の島母島の港

- ・4 月 22 日に土佐清水市在住の話者へ、民話についての聞き取り調査をオンラインにて実

施。

- ・5月19日に愛媛県西予市大野ヶ原の小松ヶ池と、津野町芳生野の蛇ヶ渚で伝説についての調査を実施。



大野ヶ原の小松ヶ池での調査

「民謡」

- ・昭和62、63年度に実施された「高知県民謡緊急調査」の調査表と、その報告書である『高知県の民謡』をもとに、構成や掲載する民謡の検討を行っている。一部民謡については今年度に専門知識を持つ作業者に依頼し、楽譜を作成し掲載する計画である。

「地名」

- ・調査編集チームを編成し、文献や現地調査の情報をもとに、地名のデータベースを作成している。
- ・これまでに梶原町松原、高知市比島、仁井田、いの町清水、宿毛市鶴来島、四万十市中村、土佐町石原、香南市羽尾、安田町中ノ川、南国市十市の10ヶ所の地名について調査済み。
- ・構成としては現在、「総論」、「自然と地名」、「人と地名」の3つの章を設ける予定。「自然と地名」では地形や風水害、生物に関する地名を、「人と地名」では歴史的な開拓や集落、交易や生業に関する地名をまとめる。また、特徴的な地名などについてはコラムとして解説を挿入する。

2. 本編第1巻に向けて

本編第1巻は高知県の地域性を「山村」「平地農村」「町と都市」「海村」の章に分け、それぞれにおける民俗の特徴を記述する構成となる予定である。各章の担当者は、「山村」に飯高伸五委員と梅野光興委員。「平地農村」に安室知委員と中村淳子委員。「町と都市」に山本志乃委員。「海村」に川島秀一委員があたる。全体構成や各章の具体的な内容については

民俗部会にて、各担当委員の構想案をもとに検討を行っている。

また、序論で高知の自然と風土の特徴について記述する予定で、現在、安室委員が民俗地図の作製とアンケート調査の準備をすすめている。

令和7年2月以降の個別調査としては、上記のほかに以下の活動を行った。

- ・高知市内で昭和30年代に市民によって行われていた歌舞伎についての聞き取り調査（佐藤副部長）
- ・高知市御豊瀬、土佐市宇佐の漁港での民俗調査（山本委員 川島委員）
- ・アンケート票作成に向けた「高知県民俗文化財分布調査表」の調査（安室委員）

3. 前回の編集委員会以降の民俗部会と今後の予定

令和7年3月17日(月) 第12回民俗部会

- ・本編の構成案および「町」のまとめ方について検討
- ・民俗地図作成に向けたアンケート票の案について検討
- ・資料編1の紙面構成について検討

令和7年5月18日(日) 第13回民俗部会

- ・本編の構成案および「海村」のまとめ方について検討
 - ・資料編1執筆に向けた作業スケジュールについて確認
 - ・令和7年度の合同調査地と、個別調査予定について確認
- 合同調査は四万十市中村を中心とした幡多地域で実施することを決定

今後の予定

令和7年8月下旬 第14回民俗部会

- ・民俗地図作成に向けたアンケート調査表について検討
- ・資料編1執筆に向けた作業の進捗共有
- ・令和7年度合同調査の計画について検討

文化財部会の発足

1 編さんの基本的な考え

- (1) 「高知県史編さん基本方針」をふまえ、資料の収集と調査、分析、研究を確実に実施し、担当分野の編さんを着実に進める。
- (2) 基本方針の第3方針 2に示されている県民の暮らしと文化財の関わりについても調査し、編さんを進める。
- (3) 第3方針 5にある過去に撮影された文化財の写真や資料データの収集と保存に努め、今後も文化財の保存活用が可能になるような条件を考える。
- (4) 文化財の劣化、散逸、伝統芸能の継続などを含め、地域住民や関係諸機関との協力の下、保存に向けた働きかけを行い、県民共有の文化遺産の保全に努める。
- (5) 文化財部会では、他の部会との共同調査も行い、各部会との連携を図る。
- (6) 県市町村の文化財審議会や教育委員会、文化財関係の組織と連携し、各地域の文化財の特色について把握する。
- (7) 高知県の文化財の特色について把握につとめる。
- (8) 美術工芸品については、個人、寺社、地区などの所蔵品があり、調査にあたっては所蔵者に十分な説明をする。
- (9) 『蠹簡集』や『南路志』等にみえるもので、現在まで確認されていない文化財があり、調査を行い各分野と情報を共有する。

2 資料・文献調査等

- (1) 文化財指定当時の文化財審議会資料、文化財指定原票、『高知県文化財調査報告書』、市町村史談会雑誌、『月刊文化財』、文化財を紹介した市町村文化財などの刊行物、修理報告書、盗難や紛失に関わる報告書などの収集とデータ作成を行う。
- (2) 市町村教育委員会や図書館、博物館、個人が保存されている指定文化財に関係する資料やフィルム、音声の閲覧を進め、文化財部会で情報共有を行う。
- (3) 文化財部会の調査で新たに確認された資料については、他部会との情報共有を図る。
- (4) 文化財保護と博物館との関係について調査を行う。小中学校の文化財の活用、情報発信についても調査を行い、パンフレットなどの収集を行う。
- (5) 指定文化財と過疎地の人口減少と社寺の関係について、先行研究をもとに情報収集や調査を行う。

編集・調査方針

○編さん計画

- ・「文化財の体系図」（後掲）をベースに巻を構成
 - ① 資料編 3 …無形文化財・民俗文化財・記念物・文化的景観
 - ② 資料編 1 …美術工芸品
 - ③ 資料編 2 …建造物（伝統的建造物群を含む）

【方針 1】文化財の保存や修復、保全・保護・活用などの状況を調査する

- ・国及び県指定文化財について、指定以前の状況や指定の理由・経緯、指定後の修復や保全・保護の状況が分かる資料を博搜し、資料編に盛り込む
 - ⇒美術工芸品や建造物などの修復、民俗芸能継続への取り組み、記念物の保全・保護などの状況、また指定後に実施された調査の報告書（ex. 民俗芸能緊急調査、社寺文化財総合調査など）、博物館の展示やカタログなどを資料化し、それらの成果を踏まえて現在の研究水準から指定文化財を見直し、新たな価値づけを行い、県民の理解をうながす

【方針 2】文化財の現状を調査する

- ・国及び県指定文化財について、現地調査を実施し、文化財が置かれている環境を把握する
 - ⇒南海トラフ地震等の災害、神仏分離、空襲等、歴史的環境や自然環境の変化をどのように乗り越え、修復、保存されてきたかを明確にしながら、現在の文化財の現状を把握することで、これからの保存や修復、活用に関し、県が行う取組や支援、普及啓発活動にも資する調査を行う

【方針 3】文化財の保存と活用につなげる

- ・高知県の自然環境、歴史文化に根ざした特色ある有形・無形文化財、民俗文化財、記念物、文化的景観、伝統的建造物群について、その価値を広く県民に共有し、保存と活用につながるような紙面構成にする
 - ⇒文字資料がほとんどの古代・中世～現代の資料編と異なり、文化財の資料編は図版(資料画像)を多くし、県民が手に取って親しみやすい版面づくりに努める

【その他】

- ・各巻の総論では、近代以来の文化財保護や活用、指定に関する歴史を執筆する（通史、学史）
 - ⇒高知県の文化財の歴史や成り立ちを多くの県民の方々に知っていただく機会とする

- ・ 指定文化財以外の文化財についても、重要なものはコラムのような形で掲載する
⇒指定文化財以外の文化財を所有する所有者等や市町村へ普及・啓発につなげる

資料編 3 の調査体制

○資料編 3 の体制

- ・ 資料編の巻ごとに構成内容が異なるため、1 巻ごとに委員を委嘱する
- ・ 他の専門部会より委員数を減じ、調査協力員を増員する
- ・ 資料編 3 では、無形文化財、民俗文化財、記念物（史跡、名勝、天然記念物）、文化的景観の 4 分野 6 項目を取り扱う

○部会の構成：資料編 3（令和 7 年度～）

部会長	岡本 桂典	担当：記念物（史跡）
副部会長	三浦 要一	担当：文化的景観
委員	大本 敬久	担当：民俗文化財
委員	岡本 桂典	担当：記念物（天然記念物・名勝）
委員	黒岩 宣仁	担当：記念物（天然記念物・植物）
委員	岩井 雅夫	担当：記念物（天然記念物・地質鉱物）

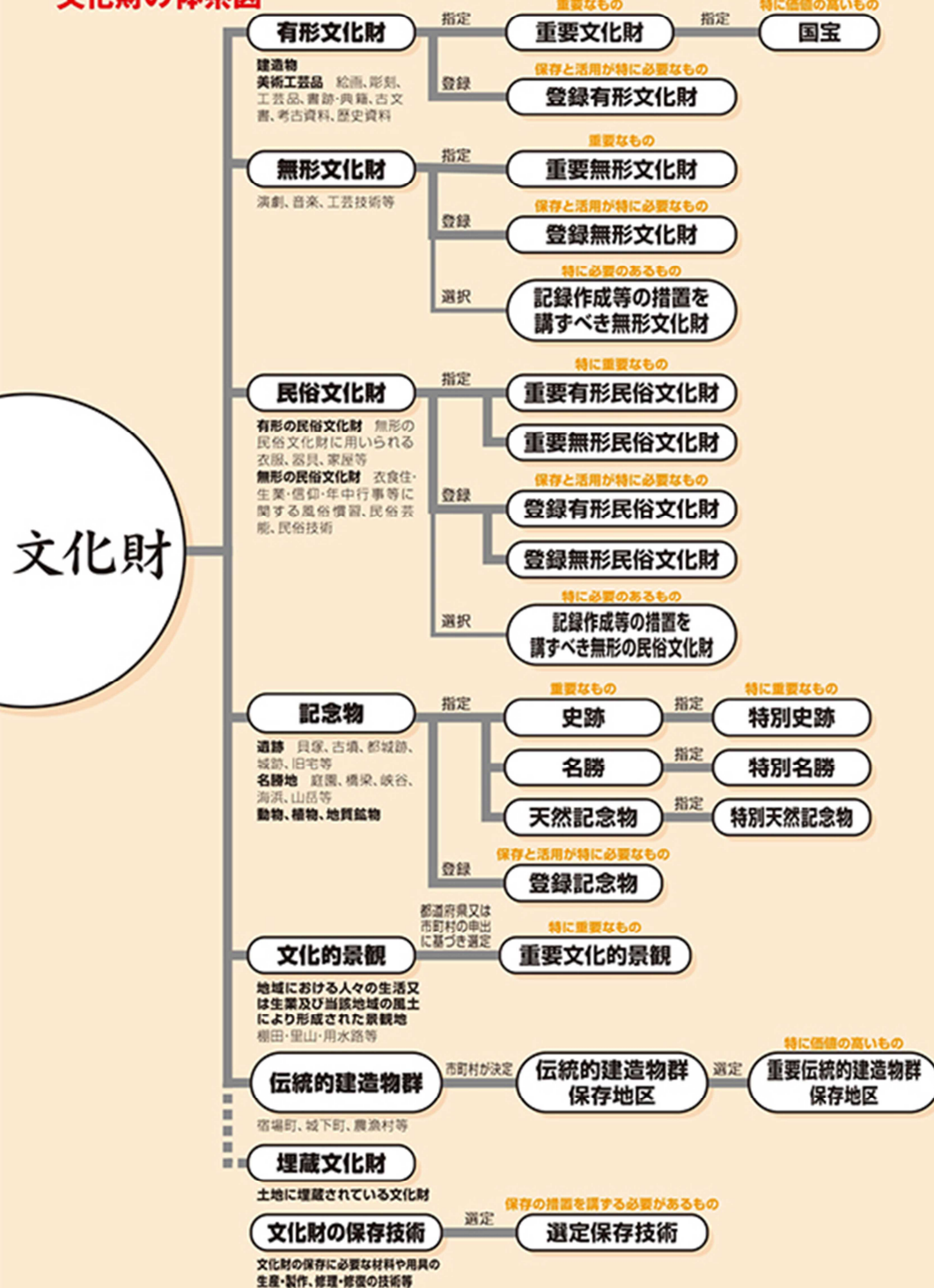
- ・ 無形文化財、選定保存技術、天然記念物（動物）、天然記念物（昆虫）は、指定数が限られることから件別に調査協力員を依頼し、専門家に調査・執筆を依頼

資料編 3 の編集・調査計画

○資料編 3 の刊行に向けた編集・調査計画

- 令和 7 年度：
 - ・ 計画及び編集方針の策定、調査体制の構築
 - ・ 調査報告書、修復、保全・保護などの情報を収集、資料化
- 令和 8 年度：
 - ・ 現地調査の実施（現状の把握）
 - ・ 資料編の構成及び目次、版面イメージの決定
 - ・ 画像及び動画撮影、データ化（→資料編の掲載用）
- 令和 9 年度：
 - ・ 原稿執筆、部会委員及び事務局職員による校正作業
- 令和 10 年度：
 - ・ 入稿（数次の版面校正を行う）

文化財の体系図



単位：件

	総数	国指定等															
		国 宝				指 定 文 化 財										重 要 無 形 文 化 財	
		計	建造物	工芸品	書跡	計	建造物	絵画	彫刻	工芸品	書跡 典籍	古文書	考古 資料	歴史 資料	計	芸能	
総数	438	3	1	1	1	88	20	2	51	12	1	1	1	-	-		
1 高知市	59	1	-	-	1	35	9	-	21	4	-	1	-	-	-	-	
2 室戸市	17	-	-	-	-	11	-	-	6	4	1	-	-	-	-	-	
3 安芸市	63	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
4 南国市	12	-	-	-	-	8	1	2	3	1	-	-	1	-	-	-	
5 土佐市	24	-	-	-	-	3	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	
6 須崎市	9	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7 宿毛市	3	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
8 土佐清水市	6	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9 四万十市	5	-	-	-	-	3	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	
10 香南市	38	-	-	-	-	6	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	
11 香美市	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
12 安芸郡	107	-	-	-	-	7	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	
13 長岡郡	9	1	1	-	-	4	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	
14 土佐郡	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
15 吾川郡	13	-	-	-	-	3	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	
16 高岡郡	44	1	-	1	-	4	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	
17 幡多郡	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
○地域を定めず	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

件数

—市郡別—

令和6年4月1日現在

国	指定等												登録民俗文化財		総数			
文化財	重要民俗文化財			特別史跡名勝天然記念物				史跡名勝天然記念物				重要文化財				重要伝統的建造物群保存地区	選定保存技術	登録有形文化財
工芸技術	計	無形	有形	計	史跡	名勝	天然記念物	計	史跡	名勝	天然記念物							
	6	2	4	5			5	37	11	3	23	6		2	2	288	1	
-	-	-	-	1	-	-	1	4	3	1	-	-	-	-	-	18	-	1
-	1	1	-	-	-	-	-	2	-	1	1	-	1	-	-	2	-	2
-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	1	-	-	60	-	3
-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	-	-	1	-	4
-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	-	2	-	-	1	-	16	1	5
-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	1	-	-	-	-	6	-	6
-	1	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	7
-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	3	-	-	-	-	2	-	8
-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	9
-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	31	-	10
-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	-	2	-	-	-	-	14	-	11
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100	-	12
-	1	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	13
-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	14
-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	15
-	2	1	1	-	-	-	-	4	1	-	3	5	-	-	-	28	-	16
-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	17
-	-	-	-	3	-	-	3	7	-	-	7	-	-	-	-	-	-	○

	県 指									
	総 数	保 護 有 形 文 化 財								
		計	建造物	絵 画	彫 刻	工芸品	書跡典籍	古文書	考古資料	歴史資料
総 数	238	120	10	6	40	34	2	3	20	5
1 高 知 市	39	23	3	1	5	10	1	1	-	2
2 室 戸 市	11	4	-	1	1	1	-	-	1	-
3 安 芸 市	5	2	-	-	-	1	-	1	-	-
4 南 国 市	25	21	1	1	-	8	-	-	10	1
5 土 佐 市	9	4	1	-	3	-	-	-	-	-
6 須 崎 市	8	3	-	-	1	-	-	-	2	-
7 宿 毛 市	9	4	1	-	1	1	-	-	1	-
8 土 佐 市	11	6	-	1	5	-	-	-	-	-
9 四 万 十 市	10	5	-	1	2	-	-	1	1	-
10 香 南 市	13	7	-	1	3	3	-	-	-	-
11 香 美 市	12	5	1	-	1	2	-	-	1	-
12 安 芸 郡	20	11	3	-	6	-	1	-	1	-
13 長 岡 郡	11	7	-	-	7	-	-	-	-	-
14 土 佐 郡	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-
15 吾 川 郡	8	1	-	-	-	1	-	-	-	-
16 高 岡 郡	38	16	-	-	4	7	-	-	3	2
17 幡 多 郡	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
○地域を定めず	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 国指定・重要文化財「旧魚梁瀬森林鉄道施設」は、安芸郡の5町村にあるが、指定件数は1件であり、安芸郡に1件とする。
 国指定・重要無形民俗文化財「土佐の神楽」は、県内に9団体あるが、指定件数は1件であり、便宜上、高岡郡に1件とする。
 国指定・史跡「土佐遍路道」は、県内に5カ所あるが、指定件数は1件であり、便宜上、最初に指定を受けた塚地坂がある。
 国指定・天然記念物「大引割・小引割」は、吾川郡仁淀川町と高岡郡津野町の境にあるが、指定件数は1件であり、便宜上、
 国指定・天然記念物及び史跡「龍河洞」は、天然記念物に1件とする。県指定・名勝及び天然記念物「轟の滝」「長沢の滝」
 国登録・無形民俗文化財「土佐節の製造技術」は、高知県を所在地とするものであるが、便宜上、現在も製造する事業
 県指定・有形文化財「短刀 銘吉光」「わきざし 銘長谷部国信」は、所在不明となっているが、便宜上、直近の届出
 県指定・無形文化財「土佐和紙」は、県内に5品目(3町)あるが、指定件数は1件であり、便宜上、管理団体のある高知市
 資料：県歴史文化財課

定 等										
保 護 無 形 文 化 財			保 護 民 俗 文 化 財			史 跡 名 勝 天 然 記 念 物				選 定 保 存 技 術
計	芸 能	工 芸 技 術	計	無 形	有 形	計	史 跡	名 勝	天 然 記 念 物	
2	1	1	38	36	2	78	31	7	40	-
2	1	1	1	1	-	13	10	-	3	-
-	-	-	4	4	-	3	1	-	2	-
-	-	-	1	1	-	2	1	-	1	-
-	-	-	-	-	-	4	2	-	2	-
-	-	-	2	2	-	3	1	-	2	-
-	-	-	4	4	-	1	-	-	1	-
-	-	-	1	-	1	4	1	-	3	-
-	-	-	-	-	-	5	-	1	4	-
-	-	-	1	1	-	4	2	-	2	-
-	-	-	4	4	-	2	2	-	-	-
-	-	-	1	1	-	6	2	1	3	-
-	-	-	3	3	-	6	3	1	2	-
-	-	-	-	-	-	4	1	-	3	-
-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
-	-	-	3	3	-	4	-	-	4	-
-	-	-	11	10	1	11	2	4	5	-
-	-	-	1	1	-	3	3	-	-	-
-	-	-	-	-	-	3	-	-	3	-
										○

る。
 土佐市に1件とする。
 上、高岡郡に1件とする。
 滝」は名勝にそれぞれ1件とする。
 者がある土佐市に1件とする。
 があった所有者の住所であった高知市に2件とする。
 に1件とする。

広報啓発・人材育成の実施状況について

1. 広報啓発

(1) 文化広報誌「とさぶし」の刊行

- ・文化広報誌「とさぶし」を活用した広報の展開（「つないでつむいで 県史編さん室」）。
- ・令和7年度も6月、9月、12月、3月の計4巻発刊予定。
- ・6月（予定）・・・文化財部会の設置・調査開始について
9月以降発刊予定についてはテーマ等未定

(2) 事業報告書「ときのあかし」

- ・昨年度発刊分の配布については、5月末までに県内関係施設や市町村等へ送付済み。

・今年度発刊におけた業務について

①仕様

- ・A4、フルカラー、16ページ（7部会×2P+事務局 裏ページ）

②コンセプト

- ・本県の歴史などに関する貴重な資料を紹介し、資料の持つ意義や歴史の魅力が伝わりとともに、地域に伝え残された貴重な財産であることが理解できる内容とする。
- ・記述の内容は、高校日本史の教科書レベルを上限として、できるだけ専門用語を使わず、一般の方に分かりやすい記述を心がける。
- ・また既に発刊している文化広報誌「とさぶし」よりは専門性が高く、調査活動での成果報告を行う。

③主な掲載内容

成果報告として県史の調査活動で取り扱った史料（資料）の紹介

④主な配布先

- ・昨年度発刊分と同様の配布を予定（合計3,000部）。
- ・県内図書館・資料館・博物館（こうちミュージアムネットワーク会員等）
- ・各市町村教育委員会、高校、大学
また、県内公立中学校・高等学校に配布されている1人1台タブレットの教育支援システム（高知家まなびばこ）のコンテンツに導入してもらう。
- ・歴史文化財課「文化財こうち」の配布先を参考に県外大学、公立博物館

⑤契約及び原稿依頼の時期について

- ・昨年度同様に、契約は7月ごろを予定。
- ・契約後、10月下旬を締め切りとして原稿を依頼予定。

(3) 講演会の開催

- ・四万十市にて、考古部会がタキモト城跡調査結果についての報告会を実施予定。

(4) Instagram の開設・運営

- ・4月末にInstagramを開設し、投稿を開始。
- ・各専門部会の日々の調査の様子や行事のお知らせなど、週に2回程度の投稿を予定。

2. 人材育成

(1) 「歴史資料調査隊」養成講座の開催

- ・下記のとおり令和7年度養成講座を実施。

実施日 : 令和7年6月21日～22日 「資料撮影編」

講師 : 高知県立高知城歴史博物館 地域企画課

内容 : 歴史資料の取扱い方、写真撮影方法

受講者数 : 12名(予定)

- ・今年度2回目の養成講座は下記のとおり実施予定。

開催日 : 令和8年1月24日、25日 「資料撮影編」

講師 : 高知県立高知城歴史博物館 地域企画課

内容 : 歴史資料の取扱い方、写真撮影方法

受講者数 : 12名(予定)

- ・修了生を会計年度任用職員(日々雇用)として採用予定。県史編さん室での資料撮影、データ整理業務等に携わっていただく。
- ・修了生に対し継続的に歴史資料調査に携わる機会を提供していく。
- ・史料解説についても、引き続き開催を検討

(2) 地元高校生による資料調査見学の開催

- ・令和5年度に下記のとおり実施。

実施日 : 令和6年3月11日・12日・14日

内容 : 古文書の取扱い体験、資料撮影体験

参加者数 : 14人

- ・県史編さん業務について簡単に説明した後、実際に古文書を触ってもらい、撮影する作業を体験。また日々雇用の学生が翻刻作業をしているところを、くずし字辞典を見ながら見学してもらった。
- ・参加した学生からの評価はとても好評であり、興味を持っていただくよい機会となった。
- ・令和7年度については、高等学校長協会との連携を通じて実施を検討。

執筆委員・特別調査委員の委嘱方法について

(1) 趣旨

令和 8 年度末の近世資料編Ⅰ巻を先頭に、今後各部会の刊行に向けて、委員の皆さんのほか、外部の方にも執筆にご協力いただくことや、特定の専門分野についてご協力いただく方を増やしていく必要が予測されるものの、現行の基本方針のままであれば、委員を委嘱するのに編さん委員会の承認が必要となり、必要に応じた迅速かつ柔軟な対応が困難な状況にある。

また、一定執筆に協力いただくことが想定される各専門部会委員の委嘱については、委員会での承認が不要であるため、釣り合いが取れてない状況ある。

このことから、以下の案のとおり改正したい。

(2) 改正(案)

該当項目を削除（資料 5 別紙 1 及び別紙 2 参照）。

新

高知県史編さん基本方針

- 第1 略
- 第2 略
- 第3 略
- 第4 略
- 第5 略
- 第6 略
- 第7 略

第8 組織

県史の編さんに当たり、高知県史編さん委員会、高知県史編さん編集委員会、高知県史編さん専門部会及び高知県史編さん事務局を置く。

- 1 略
- 2 略
- 3 略
- 4 略

(削除)

5 庁内に高知県史編さん事務局を設け、県史の編さんに必要な資料調査、執筆・校正の補助、事業全般の庶務等を行う。

- 第9 略
- 第10 略

旧

高知県史編さん基本方針

- 第1 略
- 第2 略
- 第3 略
- 第4 略
- 第5 略
- 第6 略
- 第7 略

第8 組織

県史の編さんに当たり、高知県史編さん委員会、高知県史編さん編集委員会、高知県史編さん専門部会及び高知県史編さん事務局を置く。

- 1 略
- 2 略
- 3 略
- 4 略

5 各専門部会の部会員だけでは対応できない専門領域の調査を担う「特別調査委員」並びに各専門部会の調査結果を基に県史の執筆を担う「執筆委員」を必要とする場合は、高知県史編さん編集委員会での協議を経て、高知県史編さん委員会の承認を得た上で適宜必要な委員を委嘱することができるものとする。

6 庁内に高知県史編さん事務局を設け、県史の編さんに必要な資料調査、執筆・校正の補助、事業全般の庶務等を行う。

- 第9 略
- 第10 略

新

旧

高知県史編さん編集委員会設置要綱

高知県史編さん編集委員会設置要綱

- (目的)
- 第1条 略
- (所掌事項)
- 第2条 略
- (組織)
- 第3条 編集委員会は、委員長、副委員長及び委員で組織する。
- 2 略
- 3 略
- 4 略
- 5 略
- 6 各専門部会の部会委員だけでは対応できない専門領域の調査を担う「特別調査委員」並びに各専門部会の調査結果を基に県史の執筆を担う「執筆委員」を必要とする場合は、各専門部会の協議を経て、適宜必要な委員を委嘱することができるものとする。
- (任期)
- 第4条 略
- (会議)
- 第5条 略
- (事務局)
- 第6条 略
- (その他)
- 第7条 略
- 附 則 略
- 附 則
- ※第3条6項 この要綱は、令和7年9月〇日から施行する。

- (目的)
- 第1条 略
- (所掌事項)
- 第2条 略
- (組織)
- 第3条 編集委員会は、委員長、副委員長及び委員で組織する。
- 2 略
- 3 略
- 4 略
- 5 略
- (任期)
- 第4条 略
- (会議)
- 第5条 略
- (事務局)
- 第6条 略
- (その他)
- 第7条 略
- 附 則 略

第4回高知県史編さん委員会の進め方について

県史編さん室

○編さん委員会の発表について

(これまで)

- ・各部会が進捗状況を編さん委員に説明してきた。

(課題)

- ・各部会の数が多くなり、限られた時間の中で説明することが難しくなりつつある。
- ・一方で、進捗管理の報告を報告し、意見をいただく場であることは担保していきたい。
- ・前回の編さん委員会説明時に、編さん委員長（知事）から、「委員の方の発言時間が確保できるように、編さん委員会のタイムスケジュールを見直すように、工夫して欲しい」とのコメントあったところ。

○編さん委員会でのお願い

- ・会議の場における進捗管理の報告については、委員への資料の事前送付や事前説明などを徹底することで、会議の場では、事務局から説明を行う。

(今年度立ち上がる文化財部会や自然部会は、事務局から説明。)

- ・各部会からは、5分程度でこれまでの調査活動のうち、わかりやすい形でご発言をお願いします。

(部会によっては、事前に事務局からご相談する場合あり)

- ・説明用の資料は、例えば、ワンペーパーにするなど簡潔な作成をお願いします。説明の際には、一般にわかりにくい専門用語については、極力控えつつ、簡潔な内容（課題⇒調査内容⇒調査結果）でお願いします。

<参考>

第4回高知県史編さん委員会の進行（案）

日時：令和7年9月5日（金）10:30～12:00

場所：高知県庁 本庁舎2階 第2応接室

●開 会 【3分】

1 委員長（高知県知事） あいさつ 【3分】

2 副委員長（高知県史監修者） あいさつ 【3分】

3 報告事項

- | | |
|-------------------------|--------------|
| (1) 高知県史の編さん体制について | } 【質疑応答含め9分】 |
| (2) 高知県史の掲載内容に関する要望について | |
| (3) 広報啓発、人材育成について | |
| (4) 各専門部会の調査活動について | |

【全体5分+5分×6部会=35分】

質疑応答

【30分】

●藤井副委員長より発言 【3分】

●濱田委員長より総括 【3分】

●閉 会（総括） 【1分】

『高知県史』編さん事業 令和7年度計画表

資料7-1

部会名 (設置年)	(1) 編さん体制の構築・運営				(2) 歴史資料調査の実施				(3) 広報啓発・人材育成の実施		
	第一期計画 策定	編集方針 策定	第二期計画 策定	部会 運営	資料調査		資料編の編集		※参考 初巻発刊 年度	広報誌の発行	成果報告会
					部会調査	委託調査	項目・目次等	資料の活字化・校正			
近世 (R4)	◎	◎	策定予定	3回	・史料調査 2回 (※他に各委員の個別調査あり) 主な調査史料群 1件	—	・項目の決定 ・目次案の作成	・翻刻(資料の活字化) 「資料編1」完了	R8年度 (資料編1)	刊行冊子「ときのあかし」 (資料紹介など2ページ 予定)	検討中
近代 (R4)	◎	◎	策定予定	4回	・資料調査 2回 (※他に各委員の個別調査あり) 主な調査資料群 2件	資料翻刻委託 ・「細川義昌日記」の翻刻	・項目案の作成 ・掲載資料の選定	・翻刻(資料の活字化) 800頁分	R9年度 (資料編2)	刊行冊子「ときのあかし」 (資料紹介など2ページ 予定)	
民俗 (R4)	◎	◎	策定予定	5回	・民俗調査 14回 ・地名収集調査 6回 ・資料調査 〔民謡の項目リスト作成 民謡録音テープのデジタル化 民謡の楽譜作成〕	—	・項目案の確定 ・掲載資料の選定	—	R9年度 (資料編1)	刊行冊子「ときのあかし」 (資料紹介など2ページ 予定)	
古代中世 (R5)	◎	◎	策定予定	4回	・資料調査 2回 (※他に各委員の個別調査あり) 主な調査資料群 6件	東京大学史料編纂所 調査委託 ・本県関係史料の画像等収集 ・地名辞典等収載史料の抽出 ・中世史料テキストの基礎校 正、整序	・項目案の作成 ・掲載史料の選定(収 集)	・活字化資料の基礎校正、 整序作業 継続 (※対象) 古代史料 430件 中世史料 833件	R10年度 (資料編1)	刊行冊子「ときのあかし」 (資料紹介など2ページ 予定)	
現代 (R5)	◎	◎	策定予定	4回	・資料調査 12回	—	・目次案の追記・修正 (R6に案を策定済) ・掲載資料の選定	—	R10年度 (資料編1)	文化広報誌「とさぶし」 6月号掲載 刊行冊子「ときのあかし」 (資料紹介など2ページ 予定)	
考古 (R6)	◎	◎	策定予定	6回	・遺跡等調査 18回 ・資料編1(旧石器～古墳) 所収予定遺跡の調査と原稿 素案作成(旧石器と縄文の 合計40遺跡見込) ・弥生時代と古墳時代の所収 予定遺跡の抽出と調査及び 原稿素案作成	遺跡測量調査委託 ・三次元測量調査 1カ所 朝倉古墳	・編集計画並びに 目次と項目の具体 案の確認	—	R11年度 (資料編1)	刊行冊子「ときのあかし」 (資料紹介など2ページ 予定)	
文化財 (R7)	策定予定	策定予定	—	5回 (※チーム協議含 む)	・資料調査 8回 県外施設調査 2回 チーム別調査 6回	—	・項目の基礎資料 収集	—	R10年度 (資料編1)	文化広報誌「とさぶし」 6月号掲載 刊行冊子「ときのあかし」 (資料紹介など2ページ 予定)	—
事務局	編さん委員会 1回 編集委員会 3回				・資料所在調査(追加調査) 合併前の旧町村、未確認資料の追跡など		・クラウドシステムの保守、運用		【広報啓発】 ・Facebook、Instagramの開設・運用 ・庁内向けレター「県史編さん室 事務局だより」発行 【人材育成の実施】 ・「歴史資料調査隊」養成講座の開催 ◇資料撮影(静止画)編 2回 ◇史料解説編 検討 ・地元高校生の体験見学会		

『高知県史』編さん事業 令和 6 年度計画表

部会名 (設置年)	(1) 編さん体制の構築・運営			(2) 歴史資料調査の実施					(3) 広報啓発・人材育成の実施	
	第一期計画 策定	編集方針 策定	部会 運営	資料調査		資料編の編集		※参考 初巻発刊 年度	広報誌の発行	成果報告会
				部会調査	委託調査	項目・目次	資料の活字化・校正			
近世 (R4)	◎	◎	3回	・資料調査 2回 (※他に各委員の個別調査あり) 主な調査資料群 4件	—	・項目の決定 ・目次案の作成	・翻刻(資料の活字化) 1,000頁 ※原稿用紙2,000枚分	R8年度 (資料編1)	高知県史へのいざない(仮称) (資料紹介など2ページ予定)	検討中
近代 (R4)	◎	◎	4回	・資料調査 2回 (※他に各委員の個別調査あり) 主な調査資料群 2件	—	・項目案の作成	・翻刻(資料の活字化) 400頁 ※原稿用紙800枚分	R9年度 (資料編2)	高知県史へのいざない(仮称) (資料紹介など2ページ予定)	
民俗 (R4)	◎	◎	5回	・民俗調査 14回 ・地名収集調査 9回 ・資料調査 (民話・民謡の項目リスト作成)	—	・項目案の作成 ・掲載資料の選定	—	R9年度 (資料編1)	高知県史へのいざない(仮称) (資料紹介など2ページ予定)	
古代中世 (R5)	◎	◎	4回	・資料調査 2回 (※他に各委員の個別調査あり) 主な調査資料群 7件	東京大学史料編纂所 調査委託 ・本県関係資料のリスト作成 ・史料画像等の収集	・項目案の作成	・活字化資料の校正 古代史料 373件 中世史料 236件 ※R6年度末 調査進行により母数修正 古代373件→430件 中世236件→833件	R10年度 (資料編1)	文化広報誌「とさぶし」 ・戦国時代の武将が残した花押 (R6.7(47号)) 高知県史へのいざない(仮称) (資料紹介など2ページ予定)	
現代 (R5)	◎	○	4回	・資料調査 12回	—	・項目案の作成 ・掲載資料の選定	—	R10年度 (資料編1)	文化広報誌「とさぶし」 ・スイカが拓いた高知の輸送園芸 (R6.7(47号)) 高知県史へのいざない(仮称) (資料紹介など2ページ予定)	
考古 (R6)	○	○	6回	・遺跡等調査 18回 遺跡・遺物選定作業用 リスト作成 80遺跡	山城遺跡測量調査委託 ・ドローンを利用した三次元 測量調査 1カ所(四万十市)	・項目案の検討	—	R11年度 (資料編1)	文化広報誌「とさぶし」 ・考古部会の発足(R6.7(47号)) 高知県史へのいざない(仮称) (資料紹介など2ページ予定)	
事務局	編さん委員会 1回 編集委員会 3回			・資料所在調査(追加調査) 合併前の旧町村、未確認資料の追跡など		・クラウドシステムの保守、運用			【人材育成の実施】 ・「歴史資料調査隊」養成講座の開催 ◇資料撮影(静止画)編 1回 ◇史料解説編 1回(4日間) ・地元高校生の体験見学会	

※記号は進捗の状況
◎：完了
○：概ね計画どおり
△：少し遅れあり

部会名 (設置年)	(1) 編さん体制の構築・運営			(2) 歴史資料調査の実施								(3) 広報啓発・人材育成の実施						
	第一期計画 策定	編集方針 策定	部会 運営	資料調査				資料編の編集				※参考 初巻発刊 年度	広報誌の発行				成果報告会	
				部会調査		委託調査		項目・目次		資料の活字化・校正			文化広報誌「とさぶし」		刊行冊子「ときのあかし」			
近世 (R 4)	◎	◎	2 回	・ 実地調査 9 回 ・ 調査資料群 13件 〔史料点数 5,979点 撮影枚数 58,443枚〕	○	－	－	・ 項目案の作成 ・ 掲載史料の 選定	○	・ 資料の活字化 計画：1,000頁（原稿用紙 2,000枚分）翻刻 「資料編 1」 1,280頁 その他 233頁	○	R 8 年度 (資料編 1)	・ 歴史資料調査隊養成講座（史料解 読編）(R6. 9(48号)) ・ 「門脇家文書」(R6. 12(49号)) ・ 学生実習 (R7. 3(49号))	○	関田家史料	○	－	－
近代 (R 4)	◎	◎	3 回	・ 実地調査 34回 ・ 調査資料群 9 件 資料点数 5,123点 撮影枚数247,027枚 うち 資料群 3 件 資料点数 3,103点 画像247,224枚 所蔵機関提供	○	－	－	・ 項目案の作成 ・ 掲載資料の 選定	○	・ 資料の活字化 計画：400頁（原稿用紙800 枚分）翻刻 資料編全体 194頁	△	R 9 年度 (資料編 2)	・ 旧制中学校資料のレスキュー (R6. 9(48号))	○	旧池川町役場文書	○	・ 調査成果報告会 「役場文書の世界」 (安芸市共催)	○
民俗 (R 4)	◎	◎	4 回	・ 実地調査 36回 ・ 文献リスト作成 口頭文芸項目 173冊 7,7919項目 ・ 民俗芸能調査 5 件 (動画撮影 3 件)	○	－	－	・ 項目案の作成 ・ 掲載項目の 選定	○	－	－	R 9 年度 (資料編 1)	・ いざなぎ流「日月祭」(R6. 12(49 号))	○	日曜市	○	－	－
古代中世 (R 5)	◎	◎	3 回	・ 実地調査 10回 〔調査資料 古代史料 430点 中世史料 1,993点〕	○	東京大学史料編纂所 調査委託 ・ 史料画像収集 25件1,304枚 ・ 「史料編纂所複製作成一 覧」160件 ・ 『土佐国編年史料控』 文書一覧 850件 記録典籍一覧 697件	○	・ 項目案の作成	○	・ 活字化資料の 校正 古代史料 250/430件 中世史料 58/833件 ※校正は R 9 年度完了予定 のため、現時点で全体の進 捗に影響はない	△	R10年度 (資料編 1)	・ 「花押鑑」長宗我部元親・盛親の花 押(R6. 7(47号)) ・ 土佐一條氏の足跡(R6. 12(49号))	○	「長宗我部元親・盛親連 署状」	○	－	－
現代 (R 5)	◎	◎	3 回	・ 実地調査 51回 ・ 調査資料群 31件 資料点数 1,222点 撮影枚数119,805枚	○	－	－	・ 項目案の作成 ・ 掲載資料の 選定	○	－	－	R10年度 (資料編 1)	・ 高知の輸送園芸(R6. 7(47号)) ・ 廃校資料のレスキュー (R6. 9(48 号))	○	自治体広報誌	○	－	－
考古 (R 6)	◎	○	2 回	・ 実地調査 77回 ・ 調査資料データ化 包蔵地リスト60件 調査カード 7 件 遺物図化 242点	○	山城遺跡測量調査委託 ・ ドローンを利用した 三次元測量調査 1カ所(四万十市)	◎	・ 項目案の検討	○	－	－	R11年度 (資料編 1)	・ 考古部会の発足(R6. 7(47号)) ・ 江師遺跡の出土品（土器） (R6. 9(48号)) ・ タキモト城跡(R7. 3(49号))	○	野中麿寺 不動ガ岩屋遺跡	○	－	－
事務局	編さん委員会 1 回 編集委員会 3 回		○	・ 資料所在調査 全34市町村 (R 6 年度完了) ・ 追加資料調査 9 箇所 (旧町村、旧自治体史収集資料等の調査)		○	・ クラウドシステムの運用、保守 (全部会共有フォルダの作成)		◎				【人材育成の実施】 ・ 「歴史資料調査隊」養成講座の開催 ◇資料撮影編 修了者 21人 ◇史料解読編 修了者 9人				○	